京城日報

本紙定價・廣告料金 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

京元線 / 平南線 / 同上南行(定時列車) [illegible]

九月十九日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇後繼內閣凝議
山公松侯十八日參內 元老會議は廿日頃か

十八日午前十時參內したる山縣公は直ちに御座所に於て天皇陛下に拜謁仰せ付られ天機奉伺後時局問題に就き委曲奏上且つ勅問に奉答する所あり御前を拜辭したる後引續き參內したる松方侯と內大臣府に於て會見後繼內閣問題に就き種々協議し正午西一の間に於て午餐を拜受し尙ほ協議を繼續したる後午後二時三十分公侯相前後して退出せり此間長き逸にては侍從職を經て大隈侯を召させられたるもの、如くなりしが當日は大隈侯の參內なく兩元老も其儘退出したるところより見れば十九日更に兩元老及び隈侯の宮中會見あるべし一方伊香保に靜養中なる西園寺侯は十八日御召しの旨を傳へられたるもの、如く多分十九日歸京すべく從つて元老會議は二十日となるやも知れずと觀測さる(東京特電)

滿洲里方面戰報
△偏に我軍に賴る
露人我軍のチタ駐屯を冀ふ

其筋着電=日本の出兵に對しチタ附近の露國民は一般に好感を以て迎へ居れり殊に中產階級以上に於ては從來獨墺人並に過激派の壓力に依りて破壞せられたる秩序が日本軍に依りて恢復せられつゝあるを歡ぶと同時に將來も之を保持せらるべきを信じ日本軍のチタに駐屯するを衷心歡迎し居れり而して過般到着したる藤井枝隊の一部がカルムイスカヤ附近に移らんとするや彼等露人は日本軍が全然チタより撤退するものと考へ憂慮甚だしきものありたり尙同地官憲は日本軍駐屯に關する諸設備に對し多大の好感を以て便宜を與へつゝあり(東京特電)

◇墺講和提議意外
=獨逸新聞の一般評=

アムステルダム來電=墺國の講和通牒に就き獨逸新聞紙の一般的評は斯る通牒を送れるを以て意外なりとし且つ其效力に關し悲觀し居れり(東京特電)

△帝國講和提議未著

墺國の講和提議は我が日本に於ては未だ之を接手せず一昨年十二月獨逸提議の際に於ても約十日間を遲れ英國を通じて到著したることあり今回も延著するやも知れずと關係當局は語れり(東京特電)

◇獨軍の殘忍行爲

其筋着電=西部戰線に於て最近鹵獲したる書類に依れば九月五日獨逸某將軍の命令中に『退却に際しては軍事上の目的の有無に拘らず村落を燒却爆破し而も之を一層組織的に實行すること同時に井戸に毒を投ずべし』と記載しあるを發見されたり獨軍の殘忍なる今や其極度に達せりと云ふべし(東京特電)

◇土軍バクー占領

其筋着電=高加索バクー市は十六日土軍の占領する所となり引續き土軍は南下中なるが其一部は十日既にダブリッツ東南百四十基の地點を占領せり從來高加索方面に於ては土獨兩軍不和の謠傳あり作戰澁滯の觀ありしも漸く活動の色あるを見るに至れり(東京特電)

◇ニコルソン逝去

ニコルソン元帥は豫て病氣中の處療養叶はず遂に薨去せり享年七十二歲(倫敦電報)

◇辭令

十八日左の通り辭令ありたり(東京至急電報)

鐵道院副總裁 長谷川謹介
依願免本官

◎聯軍連絡と外交中心問題

哈爾賓會議は愈々近く開催せらる可き模樣にてチエック軍司令官ガイダ將軍も既に同地に入りオムスク政府の主腦ヴオロドゴッキー氏も外相を隨伴して哈爾賓に向け出發したりとの報あり右會議の旨意は今日迄東西西伯利亞の

▲連絡全く絕 たれ居り西部地方は東部西伯利亞の事情を知らず東部地方に於ては西部の形勢を詳かにせざる爲め勢ひチエック軍今後の西進に支障尠からず之が爲めオムスク政府代表が極東の事情を極むる目的にて哈爾賓に來れるを機會とし哈爾賓聯合軍司令官と東部西伯利亞各政府代表者と會見する都合となりしものにて聯合國代表者及び聯合軍司令官に依りては會議の地を浦鹽に移すやも知れず之より先西伯利亞政府のデルベル氏及び極東政府のホルワット將軍は各別にオムスク政府との

▲連繫を圖ら んとし前後してチタに入りホルワット氏はオムスク政府代表者と會見したるもホ將軍は官僚思想に囚はれ居りオムスク側とは思想上に於て相容れざるのみかホ將軍が執政官たるの野心を有する爲意思の疎通を見るに至らず故にホ將軍自らオムスクに赴かんとしたるもヴオロドゴッキー東下の說ある爲め中止したりデルベル氏の會見せるや否やは不明なるも最近トムスク政府當時其外相たりしがヴオロドゴッキー氏と衝突して脫走したる關係上完全に同政府との諒解を得るは猶疑問とすべし而して該會議の結果外交上の中心が軍事行動に伴なつて西進するに至るや或は

▲東部西伯利 に保持さるゝやは今後大いに注目すべく又其中心勢力が北露アルハンゲルムルマン方面に及ぶ時は隨つて西伯利の問題は西伯利自決の範圍を脫して聯合對獨墺間の關係を生ずるに至るなきやを保す可らず

◎殖銀進捗

朝鮮殖產銀行の設立事務は各方面共豫定の如く進行し居れるが開業後行員の待遇その他に付仄聞する所によれば

▲支配人の進退 殖產銀行は總支店等を設けざる事となりしを以て現在の各農銀本店は所在地の一支店に改めらるべし從つて現在の支配人は一支店長の職名に過ぎざる事となる譯なるが其權限は從來に比し著しく擴大さる、事となる模樣也然し乍ら地方の一支店に目下の各農銀支配人の如き人材を配置する必要は薄らぐと見るを至當とすべく旁將來支店長は二流以下の人物を任じ各支配人は本店に入つて幹部の椅子を占むるに至るべしと尙ほ六農銀支配人中一二氏は一身上の都合により退職する模樣なり

▲行員の異動 開業匆々は各理事進んで行務を執掌し直ちに內地若くは他の方面より多數の行員を聘する如き事はなきもの、如し然し乍ら全般に亘つて多少の異動は之を行ふべく又現農銀本店が一支店となる結果庶務株式計算より等に於て若干の冗員を出だすに付其等は本店に轉任せしむる模樣也

▲給與增額 從來農銀の行員の轉任更迭は特殊の例外を除くの外一行內に限局せられ北鮮の咸鏡並に西鮮の平安農銀に在勤する者は容易に京城地方並に南鮮方面に轉任するを許されざりしが今後は此點に於て頗る自由となりし譯なり又給與も今日までの狀態は少數者を除く外多く佳ならず從つて有爲の人物を招致し難き事情あり旁新銀行となりては相當給與率の引上を行なひ又北鮮の在勤行員等に對しては特別の優待方法を講ずべしとも稱せらる

▲行規なる 殖銀行規其他は全部立案を了し三島常務委員の歸京後確定を見るべきが其公表は十月一日創立總會を終了後新頭取より總督の認可を經し上ならんと

◎疑問の朝鮮米產
一反步當り收穫は果して何程

朝鮮水田の面積が今回百五十四萬町步と確定し從來より二十餘萬町步の擴張となりし結果朝鮮米產額は總督府統計年表の示す如く反當り一石七八升とすれば一千三百萬石の總收穫は過少となり又一千三百萬石を實際に近しとすれば反當り收穫は八斗內外に低下する事となれり右に付小原農商工部長官は『確言し得ざるも多分反當り收量は減ぜざるべし』との意見を抱持し居れる如きが實際營農者側たる東拓並に不二興業の當局を訪ふ

▼反當り八斗 足立東拓技師談 予は朝鮮米產一千二三百萬石と稱する總督府の統計は信に近きものと思ふ然し乍ら反當り平均收穫一石八升は疑問なり東拓は各道に土地を有し各道より小作料を收納するを以て會社の統計は全道の米產を察知する資料として當らずと雖も遠からざる所ならん會社所有水田中植付可能の分は約四萬町步にしてその

▲小作料收穫 は籾三十二萬石乃ち玄米十六萬石內外なり乃ち一反步當り玄米四斗に過ぎず(小作料は約五割)之れを以て見れば反當り平均收量は八斗內外乃ち百五十萬町の水田に乘じて一千二百萬石となるなり實は會社にても野田副總裁の如きは總督府の統計が反當り一石を示し居るに會社の小作料が反當り四斗內外なるは收納法に於て誤れりとて兩三年前當局に方法を講じたる事ありしが事實は遂に八斗の反當り收量を越居る事を發見する能はず兎に角疑問の中に時日を經過し今回土地調查の結果

▲水田面積 の擴大を知り始めて予等の見當の正確に近きを裏書きされしやう思ひ居れり尤も全北全南地方は一石に近き收穫を擧げ得るならん然も北鮮地方の如きあり黃海道一部の如きあり平均收穫の一石に達する事は尙ほ數年を要すべし

▼平均八斗內外 澤村不二支配人談 朝鮮水田の反當り一石以上の收穫と云ふ事は到底得られざるべし全北の良田にして初めて一石以上を收穫し得るものあれど水利の惡き土地水害を受くる土地並に瘦せた土地等は四斗を出でざるもの少からず、その平均は八斗乃至八斗五升以上には到底達せざるべしと信ず總督府の統計は各郡廳の收穫豫測に於て正確ならざるにあらざるか乃ち郡廳の

▲收穫實查 は出來のよき土地幾箇所かを選みその坪刈りをなして全體の水田の收穫量を出だしつゝある如し不作の土地の作柄の如きは殆んど見込まず見込むも僅少ならん之れ反當り收穫の一石を出でし所以なりと思ふ之等の統計は直接利害關係ある營農者が最もよく知り居る筈なり現に不二興業の所有地管理地の收穫を平均すれば八斗となり全北各農場の調查もその通りなり尙ほ從來の方法を以て各郡廳がその作況を計算されんか本年の米產は非常の巨量を示すべし然し朝鮮の產米は一千二三百萬石を超ゆる事は多からざらん

◈戰後の物價論
生活費低減せん

米紙ジャーナル、オフ、コンマースの戰後物價に關する所說概要左の如し

吾人は平和克復と共に直接軍需品製作に要する物資のみならず他の物資、假へば食料、燃料、被服、建築材料等の如きも俄然著しく下落す可しと思惟す戰後建築材料、被服、食料等に對する需要可也多大なるべしと雖も其需要たる戰時に於ける需要の如く急速ならざる可く需要者は其相場低落するまで多少の

▲時日間手控の 態度を執ること能はざるに非ざる可し又百萬の歸還兵並に現下兵器彈藥の製造に從事する者は平素の事業に復歸するが爲め日常品の產額は增加し從つて其相場低廉となるべし鋼鐵銅化學製品等の相場低落は食料、燃料、被服材料等の生產費を減殺すべく吾人の見込にては戰爭終了の時より三箇月以內に生活費は少くとも二割方低廉となるべく價錢は軍隊復員の前に於てすら著しく引下げらるべし何となれば軍隊復員せざるも現に兵器彈藥製造に從事せる者は平時の業に轉ず可ければなり資本に至つては潤澤にして

▲信用堅實なる 者は低利にて之を使用するを得べし是等の事情は互ひに相俟つて生活費を引下げ得べき勢而して一の大問題とすべきは物價騰貴し從つて弗の購買力減少せる時發行せし國債を物價低落し從つて購買力の增加せる弗にて返濟するの不妥當なる事是なり此問題は經世家の考慮を要する問題にして若し戰爭今年中に終了するも約千五百億弗の國債を承繼すべく此債務は戰前に比し物價が二倍せる時に於て負擔せるものに係る此債務の支拂には物價二倍の當時の低廉なる弗を使用することを妥當なりと思惟す或は列國委員が相會して國債返了の時迄

▲從前の物價を 其儘に釣り置くの措置を執ることあるべく或は物價の平準低落し弗騰貴するに準據して戰時の國債を評價するの策を執ることあらん孰れにせよ何等かの便法を執るにあらずんば無政府主義者並に狂妄なる社會主義者の簇出を見るの危險を生ずるのみならず歐洲列國が返濟の義務に耐へず國債破棄の事に出づることなきを保せず

◎鮮銀利上協議

朝鮮銀行にては日本銀行利上に伴なひその標準金利を動かすもの、如く大田片山兩理事、吉田營業局長その他關係當局者間に於て審議中なるが遠からず態度の決定を見る模樣なり

▲標準金利に就て

鮮銀の同業者に對する現行の貸出標準金利は最低一錢六厘にして七厘、八厘なるものもあるが本紙既報の某銀行家談として鮮銀金利一錢八厘と報ぜしは最低に比し二厘を上騰を云ひたる事となり居れるに付茲に訂正し置く尙ほ朝鮮銀行に於て每月公刊しつゝある月報には昨年來一錢八厘以上と記載しあるが此分も每號誤植となり居る由

◎運輸收入新記錄
十萬圓を超ゆ

目下特別輸送に依り日々の運輸收入は平時の約二倍以上を得つゝあるが十七日の運輸收入は客車收入五萬九千二百七圓貨車收入四萬八千五百十四圓合計十萬七千七百二十一圓にして運輸收入一日の新記錄を作れり

◎稅關鑑定官會議(四日)

稅關鑑定官會議第四日は十九日總督府第二會議室に於て鈴木度支部長官統裁の下に前日に引續き會議を續行せり

◎全鮮商議聯合會開會

朝鮮商業會議所聯合會は既記の如く十九日午前十時東拓會議室に於て開催京城商業會議所副會頭釘本藤次郎氏開會の辭を述べ直ちに議長の選擧に移りたるが其の結果開催地の會議所會頭若くは副會頭を議長に推すことゝなり釘本副會頭議長席に著く當日總督府よりは小原農商工部長官本間事務官及び湯村試補臨席す

▲小原長官は 議事に先だち今明年度の聯合會に提出せられたる議案中『撫順炭の販賣價格を滿洲地價値(運賃諸掛を除きたる原價)と同樣若くは夫に最も近接せる低減を爲すの件』に關し滿洲鐵道會社に要請の如く朝鮮に於ける石炭需給關係及び炭價の引下け策等に關しては當局に於いても屢々都督府、滿鐵との間に交渉を重ね最近に於いて本年朝鮮に於ける石炭需要豫想額二十七萬餘噸に近き炭量を滿鐵より滿洲方面地價値(運賃諸掛を除きたる原價)と從來の如く大なる開きを有せずして出來得る限り供給を仰ぐ事に交渉纏り居れる狀態なるを以て聯合會より

▲改めて前述 の如き提案を爲すには及ざるべき旨を說き尙ほ併せて這般の米價暴騰若しくは來るべき新炭問題等に關しても國有林、大與演習林の拂下げ、煉炭の供給粉炭の利用等有らゆる方面に調查研究の步を進むると同時に一面新炭消費量の減少方法に關しても考慮中なるを以て本年は例年に見るが如き薪炭問題には遭遇せざるべしと觀測さる而して時局の進展に伴ふ西伯利亞の經濟的關係等に至りては今後益各位の研究調查に俟つべきもの多く當局にても相當の施設を講じ既に實行の計畫ある旨を述ぶ夫れより二三聯合會に對する質問あり後京城商業會議所會頭を

▲聯合會長と し仁川會議所會頭奧田貞次郎氏を副會頭に推し提出議案整理委員として各會議所の書記長を擧げ同日議案の整理を了し二十日午前九時より本會議に入り議事を進行すべき事を決議し一同朝鮮ホテルに於ける招待會に赴けり時正に正午商議聯合會出席者氏名左の如し

小原農商工部長官▲本間事務官▲湯村試補(以上總督府側)▲京城釘本副會頭、韓相龍、大村書記長▲仁川奧田會頭、岡本書記長▲釜山評議員福島源次郎、書記長花輪熊次郎▲大邱評議員稻垣宗次郎、三ヶ尻忠吾▲元山副會頭本田卯之吉、書記長佐藤彬▲木浦會頭木村健夫▲鎭南浦會頭富田儀作、書記長馬場遜郎▲平壤會頭大橋恒藏、書記長久納重吉▲群山書記長谷垣嘉市

◎京龍簡閱點呼

京城及び龍山に於る簡閱點呼は二十日より施行さるべきが第一區龍山方面は二十、二十一の兩日午前八時より第十九師團より宮原少佐施行官として出張步兵第七十八聯隊兵營に於て施行第二區京城及び郡部は同師團より石川中佐出張臨時土地調查局構內に於て二十日より二十八日迄九日間每日午前八時より施行すべしと

◎簡閱點呼視察

第十九師團司令部より管下簡閱點呼視察の爲め參謀長以下副官左の各地に出張すべし

▲宮地副官 十九日より二十三日迄五日間の豫定を以て鐵原元山方面へ
▲白石參謀長 二十一日より二十三日迄三日間の豫定を以て平壤へ
▲□崎副官 二十日より二十七日迄八日間の豫定を以て新義州鎭南浦へ
▲園田副官 二十四日二十五日の兩日仁川へ

◎堤堰新設認可

曩に大阪の右近權右衛門氏より認可申請中の全羅南道務安郡荷水面堤堰四箇所新設の件は十七日附認可の指令ありたるが同堤堰の面積は三十六町餘にして大正八年三月竣工の豫定なりと

◎鹽澤大佐出張

京畿道警務部長鹽澤大佐は振威安城憲兵分隊の一部巡閱の爲め往復六日間の豫定を以て十八日出張せり

人事消息

▲園田耕作氏(京大文科教授) 十九日入京朝鮮ホテルへ
▲池內弘氏(帝大文科助教授) 同上
▲野口耕一氏(土木局元山出張所長) 十八日附四日間の豫定にて德源郡德源二郡管內へ出張を命ぜらる
▲城政馬氏(京城覆審法院長) 相州片瀨に靜養中の處御當分私事用務の爲め福岡久留米東京愛知縣一の宮方面を旅行すべし
▲國分李王職次官 溫陽溫泉に靜養中の處十九日歸京

茶前酒後

◆墺匈國の、公式講和提議に對し、馬鹿な事がと、一言のもとに蹴しは米國也。未だ〱と頭を振りしは英國也。蛇蝎の觀あるは、本尊のツェルニン也。事成らずとするも、或は之に依て、聯合各國意見の分裂を見ば意外の儲け物也と、密に其結果に注目し居たる獨逸も落膽は脫れざるべし。之が爲に却つて獨墺兩國內に、意見の分裂を呈し來るやも知れず。行詰りも斯くなり來りては、最早收拾する手段無かるべし。

◆喧嘩も、相手が何と云つても承知せずんば、愈死する迄繼續せざるべからず。カルムイコフに非ざるも、要するに喧嘩は、相手を殺さざるべからず。然らずんば我が命を奪はるるは當然也。而して這は、喧嘩の最初よりの決心たらざるべからず。今日の處、墺國自ら降を軍門に乞はゞ可也。

◆米國は新に、戰線の軍隊慰問として、男女俳優を、每月五十人宛戰地に派遣して、演劇をなさしむべしと。獨墺の疲勞困憊と、面白き對照に非ずや。皮肉なる對照に非ずや。米國が總てを犧牲にして、戰初の目的を達すべく努力し、英、佛、伊各國が、戰爭に飽疲せば、已一手に、獨墺を引受け、必ず撲き毀さんと豪語するも、事實米國の決心たるを疑はず。米國が獨墺の屈伏せざる限り、百年戰爭にても爲さんとする意氣込は、既に中歐同盟の氣勢を挫破するに餘りありて、此偉大なる威勢は、敵膽を寒からしむるに足る。

◆政府は食料問題解決の一新法として、酒無日と、米無日を作らんとすと。米は瑞穗國に生れたる國民が、三千年來の主要食料品也。而も此間眞面目に、研究を積める人稀なるが爲に、一端生活問題の不安に遇ふや、忽ち議論囂々たり。遂に政府迄が、國民に千松を強んとするは、聊か滑稽たらざるを得ず。保健調查會の先生達は、腹が減つてもひもじゆう無き人々と見えたり。

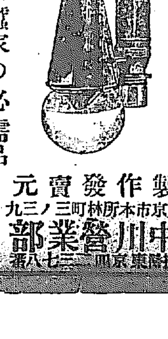
◆野分頻也。野分こそ哀れなれとは、徒然の法師の詠歎也。成程心なき身にも、哀れと云へば哀れにも感ぜざるに非ず。餘り歡迎せられざる風の神ながら、歌詠みの手にかゝると、野分きなど、詩興を引くも面白し。物も見樣、聞き樣にこそなむ侍れ。

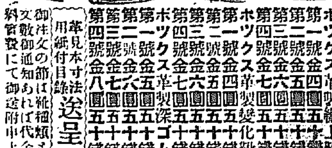
◆今日は子規忌也。而して今夜は陰曆中秋三五の夜也。明月の夜に晴天は珍らし。團子を喰ふ者には、明月の必要あらむも、酒を飲む者には、明月も餘り必要なし。風流人は月を吞んで醉ふと云ふも、人間は酒を吞んで醉ふもの也。風流には嘘言多し。風流ならざるも、子規の生前には、同情禁ぜざりしものありたるを偲ふ。

◎新製 毛綿の需用期來る!!
毛綿は普通綿より輕量にして保溫力に富み然かも價格低廉なる事は既に世の定評あり目下當社は露西亞よりの注文品製造に忙殺されつゝある盛況に付此際至急多少に不拘御用命被下度候
京城府青葉町(電話一六五番)
朝鮮製綿株式會社

朝鮮殖產銀行株
好出合有之候至急乞御照會
殺されても不信用な事はせぬ
投資家の善良なる顧問
有價證券現物問屋 大阪市東區北濱二丁目 丹羽豐商店
電話本局(三三四六・三八二一・三四〇九・三四一〇) 振替大阪三四八一八

週刊 株式時報 商學士丹羽豐主幹 (半ヶ年一圓 一ヶ年二圓)
全部六號活字株式富貴者絕好の指針 見本御申越次第無代進呈

斯界の明星 白光ランプ
新案登錄 燈火用として瓦斯と併賞さる
出願中 は家庭工場殊に養蠶家の必需品
特約店募集 ●照會要三錢郵券送附ス

製作發賣元 東京市本所林町三ノ三九 中川營業部

信用ある東京三金の靴

ボツクス革製編上靴 第一號金四圓五十錢 第二號金五圓五十錢 第三號金六圓五十錢 第四號金七圓五十錢
ホツク革製變化靴 第一號金五圓五十錢 第二號金五圓五十錢 第三號金六圓五十錢 第四號金七圓五十錢
ボツクス革製深ゴム 第一號金五圓五十錢 第二號金六圓五十錢 第三號金七圓五十錢 第四號金八圓五十錢
[illegible]
革見本寸法用紙付目錄送呈
御注文の節は靴型又は足袋の文數御通知あれば代金引換送料當店負擔にて御送附申上候
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝六九〇番 振替東京一七一三番

◎値上謹告
初秋之候各位益御清榮奉大賀候陳は諸原料騰貴甚敷從來之儘にては到底最早營業困難と相成候に付不得止自今貳割方値上仕候間事情御了察相不變御引立之程伏而懇願仕候
支那料理組合

★明月　鐵嶽く我國恥ん今日の月　草人

◎西伯利の我兵は
水攻め砂糖攻め
◇―同情すべき食品の不足
その慰問は刻下の急務

西伯利戰線を視察して最近歸來せる某氏は語る『西伯利派遣軍は過激派と戰ふよりも彼の地の

▲缺乏せる　食糧と戰つてゐる、食糧の缺乏は悲慘なもので實に氣の毒に堪へない、第一に飲用水が惡くてコップに入れると赤い色をした細い筋のものが幾多混じつてゐる、それを飲むとすぐ下痢をしてしまふ、又英米軍は隣になりながら美味しさうな料理の香をさせて夕餉を急いでゐる、宛然西洋料理屋の前でも歩いてゐるやうな氣がする、それに反して我軍は米をブス／＼燻らしながら焚いてゐるそれに

▲各國軍に　比較して非常に食物が粗惡らしい、これは昔から軍人は食物に云々せずによく戰つた歴史上なんでもないが、隣軍があまり美味さうな香をさすとあまり氣持がよくないと思ふ――最も缺乏してゐるのは砂糖である日本人は非常に糖分を餘計に欲する國民であるのにそれが缺乏してゐるのは最も苦痛であるらしい、その例として擧ければ米國の青年會が紅茶を軍人に出してゐるが日本の軍人はその中に入れる角砂糖を一つ持つて歸る、又は砂糖袋でもあると

▲その袋を　嚙んで糖分を嘗めてゐる『三日間も鹽煮にしてゐるので閉口です』と言つてゐた、慰問袋を送るならば角砂糖なぞがよいと思ふ、又私が『どんなものを贈つて欲しいと思ふか』と問ふと『小さな貝の罐詰が今一個食たい』と言つてゐた、實際永く嚙みしめて味の出るやうなものが欲しいらしい――又日用品として鉛筆、封筒、レター、ペーパー等が一番欲しいらしい、殊に便紙が最も不足してゐるので、困りきつてゐる

▲又軍服の　破れなぞを繕ふために釦、針、絲の這入つた小さな容物を欲しがつてゐた大谷大將にもお會ひしたが風呂に這入ることが出來ないと言つてゐられた彼の地の軍人はとても風呂處でなく少し水のある處では兵士が三四人裸體になつて體を拭ふてゐると云ふ始末である』と蓋し出征勇士の慰問は刻下の急務であらう

◎三等
寢臺車
中管局の計畫

鐵道院中部管理局では昨年以來三等寢臺車を設ける計畫を起して來年度豫算中に編成せんとして居るその三等寢臺車といふのは現在のボギー車の座席を改造して上下二段とし下の方は横列に上の方は縱列に寢臺を作る樣に仕掛けてある下の方は上の方の樣に横臥することは出來ぬが横向きに伸び／＼と足を延ばすことが出來るから餘程樂になる、之れで旅客數は今の三等（大型ボギー九十人、普通ボギー八十人）より僅に二人位しか減じないから餘程好都合である、當局では三等急行寢臺料共で一圓位にしたら何うかと云つて居る

◎女天文學者
近く來朝せん

豫て來朝の噂のあつた米國の女天文學者ミス、ファーネスが、愈近く來朝する事になつた、女史は米國でも有名な女天文學者で紐育から四十哩位離れたバッサル大學の教授で、傍バッサル天文臺の臺長をして居る、此のバッサル大學と云ふのは昔から有名な女子大學で津田梅子女史は同窓である、同女史には色々な論文が澤山あるが其の中で有名なのは『變光星』に關する著書である、日本へ來るのは學問の爲めよりも寧ろ觀光の爲めであらう

◎船主の出資で
無線電信校
東京に新設置

豫て政府に於て計畫中の無線電信技術員養成學校は、容易に實現せざる模樣なるより、今般個人の船主互に出資して、之れが

◇設立を　爲す事に決定し設立委員として日本郵船、大阪商船、東洋汽船、三井物産船舶部、三菱造船部、川崎造船、大阪鐵工所、勝田汽船、岸本汽船、辰馬汽船、鈴木商店船舶部、山下汽船、内田汽船の十三會社代表者を擧げたり、尚ほ

◇設備費　十六萬五百圓基本金十六萬九千圓等なるが、材料其他の騰貴を見越して準備金總計五十萬圓を要すべく、出資の決定せるもの、中に、郵船、商船、三井、三菱等ありて十五萬圓に上り、其他の個人

◇船主側　にて十四五萬圓を寄附する事となり、茲數日中には五十萬圓に達すべき見込みなり、尚同校の位置は技術練習の關係上東京に設置さるべしとの事なり（神戶）

◎下關の大失態
敵國人から寄附を受く

下關市にては今回の米廉賣資金として市内各有志を夫々勸誘し寄附を受けたるが下關在留外國人よりも相當寄附ありたる中に敵國獨逸人某よりも百圓の寄附申込みありたるを市役所にては漫然これを受領せしが下關警察署側に於て敵國人より寄附を受けし事の違法なる事を警戒し假令故意ならざりしにもせよ甚だしき失態なりとアワヤ市長を告發せんと迄に成り行き險惡に見ゐたるより寄附金は取り敢ず一應寄附者たる獨逸人に返却したるも事件は未だに解決せずと

◎戰地既に初雪
出征將卒の困苦想ふべし

滿洲里附近並に露領は早くも冬の光景となり寒氣日に嚴しからんとし滿洲里に於ては十三日初雪ありたり（哈爾賓）

滿洲里方面は既に初雪を見るの有樣で出征將卒の困苦想像に餘りあるのである我陸軍に於ては先年來北滿西伯利亞方面の嚴冬に對する試驗班を出して被服其の他の調度が整へて居るがそれは丸で毛皮にくるまつて居るやうなもので内地で心配した程の事はあるまいと云ふ事であるが、それでも冬季に入れば氷點下六十何度といふ酷寒であるから嘸困しむ事であらう、恤品としては日本酒が何よりであると某少將は語つた

◎火事場の樣な哈市
輸送機關が止つたので物價は目玉が飛び出るほど高い

最近哈爾賓より歸來したる兒玉俊造氏外數氏は目下在京中なるが其談に依れば

我々は本月九日哈爾賓を出發して來たが其當時は東清鐵道の罷業騷ぎで汽車が三日以來全く通じなかつたから哈爾賓は旅客や軍隊で滿員になり我々は

▽布團部屋　に追込まれるやうな憂目に遭つた、八日に至り辛うじて一部を働かして第一回目を運轉し我々は九日の第二回目の運轉列車に乘つたが、一週間も滯留して居た旅客が殺到したのだから堪らない、息も出ない程詰め込まれた揚句乘り遲れた者は

▽昇降口に　ぶら下つて從業員に叩き降ろされるなど丸で命からぐの避難民を收容する列車のやうだつた、長春も同樣北の混雜は名狀し難く旅館は勿論民家までが人で一杯詰まつて居た、哈爾賓以西滿洲里方面は年々チェック軍のため列車を出たが、聞の

▽北滿移動　の際の如き大さへチェック軍中の經驗あるも途中で機關士が逃げ出したため二日間も列車中で滯在させられたさうである、輸送機關が全く杜絶して了つたから奥地方面に於る物資の缺乏甚だしく哈爾賓には[illegible]朝鮮米がある許り一等旅館さへ嘔き出さうな飯を出してゐた

▽海拉爾に　は先月末頃から味噌が無くなつたとかで日本人は恐慌して居たが總て此の調子だから物價の暴騰著しく長春で五十錢位の寶が一圓以上もして居た、北滿出兵前は滿洲里海拉爾に居つたが露西亞人は一般に好感を有つて居て到る處で我々を歡迎して呉れた、然るに

▽支那人は　日本人と見ると反感を抱いて居て何か行き違ひが出ると直に喧嘩を吹きかけるので日本人は大いに憤慨してゐた

◎全く參つた
債券屋
續々廢業す

從來朝鮮各道に於て勸業債券の月賦販賣を業とせる者甚だ多く全道を通じて百二十名に及びたるが之等の營業者中朝鮮へ本據を有するものは僅に六名に過ぎず他は皆内地に營業の本據を有する内地債券會社の支店又は出張所若くは代理店にして其營業上兎角の弊害を醸せる爲め先頃來嚴重に之が取締を勵行する事となりたる結果一般に營業の困難を感じ百名の多數は廢業するの餘儀なきに立至り目下の處にては僅々二名の營業者を存するのみの狀況となれり

▽本店は大打擊　某當業者の曰く

右に就き當業者側の意見を聞くに『朝鮮内各地に於ける債券販賣業者は殆んど皆本據を内地に有し朝鮮に於ては單に取次行爲を爲すに過ぎざるを以て今回の取締勵行と共に廢業するも別段の痛苦を感ぜず且つ殆に内地に於て斯業取締勵行の事ありたる以來朝鮮も早晩斯くあるべきを豫期し居たる事にて別に感ぜざるも内地の本社が被る、べき影響は甚し尠少ならざるべく將來何とか營業の方法を改良するに非ずんば購買者は逐日減少を來すならんと思惟しつゝあり』

◎露人歡喜して迎ふ
長春驛頭の觀兵式
日章旗燦として天地を壓す

長春に於る觀兵式は既報の如く十八日驛前の歡迎門前に於て擧行されたり〇〇〇長は迎門の右側に立つや午後一時十分式は步兵の行進に初まり機關銃隊、衞生隊、騎兵隊等是に續き同二時過終了せり劇喨たる喇叭の音劍光輝ける裡に

聯隊旗は燦たる光輝を　し長春驛頭を壓せり是より先支那側より鎭守使來場參觀せるが尚此壯觀を見んとて驛前に集まれる日、支、露の

群衆山を築き　殷賑にして壯麗且つ一絲紊れざる我軍の行進を見て感嘆の聲を發し殊に露人の歡喜は例ふるに物なかりき尚同夜支那側は〇〇〇長歡迎の宴を催したり（長春特電）

◎山陰線被害
城崎竹野間　四哩流失す

既報山陰線城崎竹野間四哩餘の線路は全部埋沒流失せし爲め徒步聯絡も出來ざる狀態なり（大阪特電）

▽十日位で復舊　極力修理中

山陰線は既報の如く全線致命傷を受け居れるも極力應急修理中にて今後十日間位にて略舊工事完成す可き見込なり（大阪特電）

▽壹岐丸迴航　境舞鶴間の連絡に從事する爲め

山陰地方水害の爲め鐵道線路被害多く延長約百哩に達し其の復舊は三週間を要するより其の間交通杜絶の應急策として境舞鶴間の連絡を取る可く關釜連絡船對馬丸は十七日境に迴航せり（釜山特電）

▽死者五十名　に達す　島根縣の災害

島根縣下に於ける今回の災害に就き十七日午後三時迄の調査に依れば死者五十五名、負傷者五名、行方不明一名なりと（東京特電）

◎一足違ひで
危い處
人影が絶えてから倒壞した

新義州の椿事後報　十七日午前八時十分新義州驛に到着すべかりし特別輸送列車は三十分遲れて同四十分到着したるが右延著の結果停車時間を縮め直ちに發車したるも恰も同列車發驛前より風雨の上

△雷鳴電光　物凄くはためきしかば軍隊送迎の爲プラットホームに集合したる小學校普通學校の生徒在郷軍人會員及び其他官民有志數十名は列車の發驛と共に大急ぎにてプラットホームを距りたるが其最後の一人が漸くプラットホームの不殘去り盡したる刹那吹き荒む大旋風の爲長さ四十餘間鐵骨亞鉛板張りの同プラットホームは大音響と共に倒壞し驛

△一人下敷　となりたるが幸ひに鐵骨に打たる、ことを免れたる爲無事なるを得たり僅少の時間の差にて多數の負傷者を出す可かりし箇なりとて人々喜び合ひたり此外渡邊西洋料理店の新築家屋多田商會木店の外壁の倒壞劇場常盤座の屋根を吹き拂はれたる事は被害の最も多きものにて其他多少の被害は市内各方面に尠からざる模樣なり（新義州）

◎平安精米所
工場全燒
△原因は―漏電との噂

十九日午前四時平壤陸路里百五十六番地平安精米所より出火し忽ち機械工場に延燒火勢益々猛烈となりしが急報に依り警察官消防隊等馳付け鎭火に努めたる結果午前五時二十分に至り同工場全部を烏有に歸せしめたる後鎭火せり原因は漏電ならんとの事なるも電燈會社側に於ては絶對に然ると無しと否認し目下調査中なり（平壤電話）

◎死骸を
漬物桶に
兵庫縣の慘狀

[illegible]但馬國城崎郡内川村字來日區岡川氾濫し多數の死傷者を出せしが棺桶なき爲め漬物桶に死骸を入れて埋葬したる者三十餘ありたり（大阪特電）

◎戰苦に疲れた兵士へ
慰問袋を取纏めて
贈るべく愛國婦人會本部の計畫＝一袋でも二袋でも寄贈せよ

愛國婦人會朝鮮本部では今回出征勇士に贈る慰問袋を大々的に募集する事となり市内各戶に左の樣な刷り物を配布した心ある士は揃つて應募するが好い

出征軍人慰問袋募集の言葉

戰苦に疲れた兵士には故國の後援が何よりの慰藉で何時も慰問袋が第一の贈物であるとは、何時も聞いて居ります、殊に今回多數の出征軍人方が朝鮮を通過せらるゝ有樣を見ましては一層の同情に堪へませぬ、又我海軍の軍人方が大戰爭の始まりから各方面に出動せられて、人の知らない苦勞を嘗めて居らるゝことは、皆樣の御承知の通りで存じます、依つて朝鮮本部では今度會員其他一般有志の方の御贊同を得まして、廣く慰問袋を取纏め、我忠勇なる陸海軍の將卒方に寄贈したいと思ひます、どうか左記の事項を御承知下されまして御家族方の中で、一袋なり二袋なり御寄贈お願ひたうございます

一、慰問袋に入るゝ品物の價は一袋取揃へにて五十錢位ので宜しいのです

二、御一人にて一袋以上寄贈せらるゝは少しも差支ありませぬ

三、慰問の品々は色々御氣付もありましようが先づ左の品物中より銘々の喜びさうなものを案出し軍人方の住所氏名を記入（袋に記入するなり名刺封入）して御寄贈を願ひます
美人糖、羊羹、金米糖、落花生、小楊子、楊子、煙草、タオル、ハンカチーフ、靴下、足袋、筆、巻紙、狀袋、石鹸、齒磨、手帳、小雜誌、仁丹、寶丹、眞綿、懷爐、唐がらし等

四、慰問品類の取揃方面倒と御思ひになる方は一袋分金五拾錢（二袋なら一圓）を本部へ御寄贈下されば本部役員に於て慰問品を見立て住所と御姓名を記入して寄贈の手續きを致します

慰問品を御入になる御便宜の爲め慰問袋丈けは本部に拵へてありますから御入用の方は御申越下さい
袋を御仕立になるなら白木綿尺二つ折四寸五分あがりでよいです

◎列車時刻
近く復舊
京釜線は二拾五日から

朝鮮線列車運轉時刻は豫て變更中なりしが豫報の如く京釜線京仁線馬山線湖南線京元線は本月二十五日より京義線平南線兼二浦線及び平壤炭坑線は二十六日より平時運轉に復舊の由なり

◎部下を代表して
中屋少將から
愛國婦人會へ謝狀

愛國婦人會朝鮮本部は京元西伯利出兵以來盛んに活動しつゝあり殊に[illegible]に輸送開始以來同會役員たる各貴婦人連は朝は早曉より夜は深更に及ぶまで龍山停車場に送迎接待を爲しつゝあるがこれに對し過般京城通過北行せる出征第三師團〇〇兵第〇〇〇〇〇長中屋則哲少將より部下の諸部隊を代表して同會本部宛に左記の禮狀を寄せ來れり

拜啓過日出征の途次貴地通過の節は厚き御[illegible]酒に預り誠に恐縮に存候尚其節は結構なる頂戴物を致し有難く御禮申上候　本十四日無事長春に到着仕候　先者不取敢御禮申上候敬具

◎富士山丸衝突

十八日釜山警察署より警務總監部への報告に依れば汽船富士山丸は釜山港より三浬沖にて帆船と衝突し帆船は沈沒して乘組員内地人二名鮮人一名救助され尚鮮人一名行方不明となれりと

◎市内は十月初
から大掃除

京城に於ける秋季清潔法は本月二十五日頃より實施の旨既報せしも市内は稍繰下げ十月初旬より施行すべしと

□救濟會寄附
金四千圓　三菱製鐵株式會社

右は同會社が細民救助の目的を以て全道に對し金三萬圓を寄附したる内京城府に對し分配せられたる額なり
累計金九萬六千八百卅四圓二十錢也

◎同窓生慰勞會

軍隊輸送開始以來連日に亘り龍山驛に出征將卒を迎送しその接待に努めつゝある京城高等女學校同窓會にては來月一日母校に於いて今回活動せる同窓生のため盛んなる慰勞會を催すと同時に當日母校側より軍國の女子必須事項の講演を聽くべく將校の出張を請ふべし

◎大保丸安著

一時行方不明にあらずやと憂ひ居たる鎭南浦中村組の大保丸及び第二ヘイエイ丸は十八日午前鎭南浦に安着せる旨同事務所に入電ありたりと

◎奇特な面長

平安北道義州郡批峴面長鄭允文氏は今回〇〇通過に際し同地停車場に於て湯茶接待の經費として金三十圓を寄付したりと

演藝

▲秘密の王國　終篇　大正館は二十日より探偵活劇秘密の王國終篇を差替ふべき筈なるが過般來より同館の呼び物となり居りし連續活劇秘密の王國は愈々今回を以て終りとなるべくフイリップ王子、忠僕ジュアン、シェリア姫、奸物レーモン伯等の最後の運命は本篇に現はれ居る由、その他の寫眞としては實寫大海の波、笑劇[illegible]嬢、新派悲劇存在の聲全四巻、舊劇竹内加賀之助全三巻等なり▲黄金館　十九日より差替への[illegible]

仁川期米
天　晴（十九日午後六時より二十日午後六時迄）

演藝案内

本町三丁目　壽座　電話五七八番
▲喜劇連鎖義士迺家女優團　九月二十日十四日目
第一　喜劇まからんや
第二　連鎖活劇旅順背嚢靴の音
第三　悲劇石嘆吉原揚屋の段
第四　悲喜劇嫁いじめ

櫻井町　大正館　電話八七三番
當る二十日より大寫眞提供
◉實寫　大海の波
◎大活劇『秘密の王國』
◎新派大悲劇『春の雲』全三巻
◎舊劇『竹内加賀之助』

明治町一丁目　浪花館　電話二六〇番
女流浪界の横綱　中一喜一行
十八日午後六時より
▲谷風梶之助　▲春色吹分梅　▲太功記　▲義士傳　▲人情美談　▲餘興八雲琴三味線合奏曲

有樂館　電話（階下）二〇五番
早川演藝部直營活動寫眞常設館
◎活劇　ハーリの惑れ　全三巻
◎人情劇　旅の女　全五巻
◎人情活劇　眞心　全三巻
◎軍事滑稽　家なき兒　全二巻

黄金館
甲賀三郎　全七巻六十二場
▲米國キーストン會社特作品　喜劇　爆彈ピアノ　全三巻
▲活　殺　全三巻
新派　除隊　びつくり袋　全四場
九月二十四日は祭日晝夜開演

かぜつね　カギヤピリン　面白い程さく　彼是と手遲れせぬ樣直ぐ用ひよ　本舗 名古屋 荒川長太郎

內地材各種　鴨綠江原木卸商　平野材木店　出張所

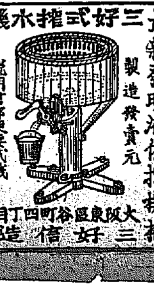
洋酒　罐詰　糖粉　釜山　あづまや商店

酒精　燒酎　西貢米　碎米　砂糖　麥粉　雜穀食料品　福榮商會

乾物　糖粉　煙草　雜貨　卸問屋　山西商店　釜山

釜山名著商店案内

宇治茶直接販賣　御銘茶定價表　製造本店 京都 井上六平


最新發明液体搾機　三好式捲水機　製造發賣元　大阪 三好信造
本場精品

……は支那側に……押し八錢
と依然持合ひの裡に伸惱みの成行
きを示して散會
後場先限一節二十四圓〆七錢八錢

後場　寄付　二十四圓〆七錢　引け　二十四圓〆八錢　高値　二十四圓〆九錢　安値　二十四圓〆七錢

十七日午前釜山入港博愛丸一二等客……
一等（十七名）……

十七日午後入港高麗丸一二等上陸

□暴風警報　▲風強かるべ

報　曇

前日最高溫度　六十七度六分　十九度八分
前日最低溫度　六十八度五分　二十度三分

大連より

◎頃者奉天省公署より發布せる水田耕種奬勵法に就き論旨の多くは其の裏面は朝鮮墾民の排斥に在り其の來住開墾を妨害阻止せんとするに外ならずと解釋するが如し然共吾人は該奬勵法を見て必ずしも鮮人の移住開墾妨害を唯一の目的とせるものに非ざるべしと思考す

◎曩に北陵附近に於ける朝鮮人の退去及び今猶所在滿洲支官民が朝鮮人農業に與ふる因襲的迫害侮蔑は絶ねざる處なるが之れを以て朝鮮人の滿洲移住耕農の前途を悲觀すべき程のものに非ず猶今回の水田耕種奬勵法を以て一概に鮮人移住の妨害を爲すものなりと解すべからざるなり

◎即ち奬勵法を見るに水田として好適地選定、水稻耕種の利益を勸說し官より種子の給與奬勵法實行者に對する奬與規定、佃個契約の手續等を制定發布せるものなり

◎奉天公署が該水田耕種令を發布せる一動機は我國に於ける米價騰貴及び滿洲に於ける需用の盛んにして耕作の利、彼の麥黍殖のそれに比し遙に大なるを知り勸奬に策を取りたるや明かなり

◎滿洲の地其の大部分は水田耐種の便を缺くと雖も猶各地の河川流域に於ては容易に化して水田たらしむるに好適の地存し官民協力して水田經營を圖らば其の收穫亦侮るべからざるものあるべし

◎而して滿洲人及び北淸人元來水田の耕種に馴れず甚だしく之れを嫌ふの風あり官憲は先づ朝鮮人を招來して水田の經營に當らしめ漸次自國民の風を移して水田經營の事に習熟せしめんと企つるものゝ如し即ち今回の奬勵章程中に佃個契約を外國人に移轉する事を得ざる事を特記し朝鮮人の墾民が恣に耕作權を自國人に讓渡する事を禁止せり之れ支那人をして漸次水田耕種の事に馴らはしむる手段として止むを得ざる處なり

◎該奬勵章程を目して朝鮮人の移住農民排斥なりと解せる亦茲に在るべし然れども規定中新來の移住民にして水田を耕種せんとする者は地主と墾民と佃墾又は佃種契約を訂立し縣知事に届出づべしと移住民の耕種に從事するの手續きを明記せり

◎支那官憲の水田奬勵の意朝鮮人の移住を妨ぐるものに非ざる事明かなり其の土地耕種權の移轉の如き其の時に應じて個々別に處分し得べきものなり吾人は鮮人住民が此の邊に疑念なく盛んに滿洲に移耕し以て自ら其の生活を豐にし且つ在滿邦人の爲め米産を豐富にせん事を希望するものなり

◎東淸應急策

罷業以來大問題なりし東淸鐵道管理は支那自國に於て掌握し一切他外國に委託せざる事を聲明せるを以て若し今日の如く運輸狀態遲緩にあつては必ず諸外國の輿論を喚起し或は折角回收したる權利を再び不安に陷らしむる事なきやも保し難ければ大いに憂慮し爰に吉林孟督軍よりの電請に依り北京政府は交通部より同盟罷業救濟策として最も熟練なる機關手二三十名を急派し焦眉の急を救ひ漸次各事に堪能なる所員を增加し完全なる運輸力を具備すべき事に決定せり之れ派遣員は近く奉天を通過し北行以て大活動の筈なり（奉天）

◎外交處權限

支那政府は向後北滿方面に出動せる各國聯合軍の數多きを加ふるに伴ない勢ひ各種の小葛藤を生ずべきに依り參戰所は同外交に就き左の三項を決定せり（奉天）

（一）邊境地方に於て臨時發生したる小交涉は駐祭官より平和に結了するを得

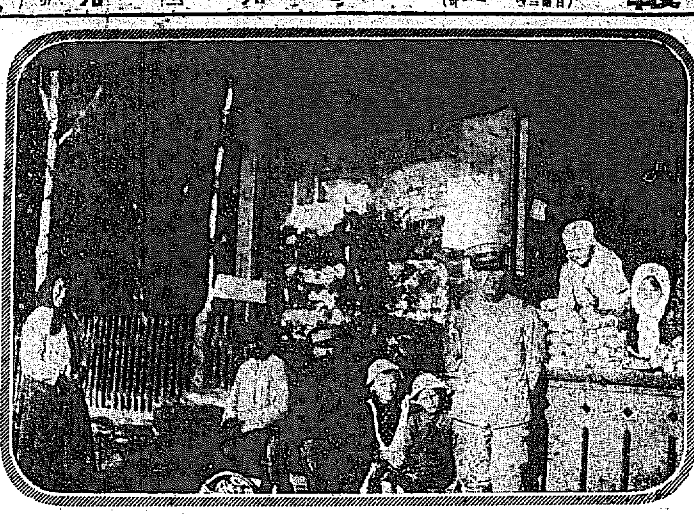
（二）外國軍隊と支那軍とに關する交涉は各督軍より其實情を詳にして之を處理する事

（三）較重大なる外交事件は政府に電稟して指揮を待つべし

◎東淸線と管理權
結局關係列國の聯合會議？

同盟罷業以來大問題となりたる東淸鐵道管理權は今回支那政府が自國管理に移し敢て他國に委託せざる事を聲明せるに依り既に一段落を告げたるの觀あるも決して然らず英國の如き今尚ほ盛んに之れが管理權を得んと百方に手を盡しつゝあるが如し而も頃日聯合軍運輸會議に對し東淸烏蘇里兩線の管理を自己の手に引受くべく提議せりと云ふ然りと雖も聯合與國の意向としては同鐵道の管理權の如きは甚だ重大なる問題なるを以て只だに一國の手に委するは後日再び故障の生ぜんやも計り難く如かず此際聯合運輸會議の活動に依り運輸能力の增進を圖る事最も緊急事項たるべしと爲し輿論略決定せるが如し支那が同管理を同收したる事を聲明せりと雖も支那の如き自國鐵道の處理にすら窮しつゝある今日到底東淸及び烏蘇里兩線の管理を引受くる能力なきは明瞭にして到底充分なる活動出來ず故に其管理權は聯合運輸會議に附するを至當なりとの說高し（奉天）

★烏蘇里鐵道の停車場
浦鹽更紗の頰被＝西伯利の女＝鮭の油揚＝白樺の林



こんど日本軍が急追撃中の烏蘇里線各驛は西比利亞及び東淸線と同じく停車場の傍らに市場がある、此處に行くとパンだの燻製だの果物などがあつて店には更紗の衣物に頰被りした露西亞の女が並つて居る、その他野菜鷄卵もあればカルバスも賣る、沿海州方面ではよく川鮭の油揚げなどを賣つてゐるが此の方面にはそれが無い、寫眞はスヤキナ驛の市場の光景、後ろの樹立は白樺の林である（本社從軍記者撮影）

◎物價騰貴と小學校の兒童
南平壤郡常高等小學校長談

近來の物價騰貴が小學校兒童に及ぼす影響としては今の處主として物質的方面よりも精神的方面に多い樣でこの現象は父兄に於て未だ何處かに餘裕のあると云ふことを認められる譯で要するにそこまで極端に至らないと云ひ得るだらうそれを今話すと

❖精神的方面❖

の影響といへば兒童が物價をよく知つてゐると云ふとこ低學年の兒童でも『物價騰貴』と云ふ語の意味をよく解してゐることである總じて家庭の狀況によるには相違ないが兒童の腦裡に時の物價が明かに刻み込まれてゐると云ふ樣な事はで近來の物價騰貴と共に初めて浸み込んだものと云ふことは疑ひもなき事實である之れは別段父兄が米が幾らするの何が何うのと云つた樣に一々敎へるのではないが價格の騰貴する毎に大人同志で其の話をするのを傍に聞いてゐて自然に徹底するものと云ふのであらうと思はれる甚だしいのになると

◇吾々よりも良く知つて◇

ゐる兒童のあるに至つては驚くの外ない次第である然し今の處夫が爲に別段どうと云つて弊害は認めないがこれが愈々極端に走つて來れば確に問題であらうと思はれる

❖物質的方面❖

から受ける影響としては多少學用品の使用上に變化を來してゐる樣で今迄は他動的に節約してゐたものが近來は自發的に節する樣になつた事で假令ば鉛筆なども隨分短くなつたものでも丁寧に削つてゐる樣な風が見らるけれども大體

◇父兄其の者の精神から◇

云ふと子供が學校で使ふもの位は微々たるものだからと云ふ所謂子供本位と云ふ點からでもあらうが比較的豐富に供給してゐる樣であるから大して變つた風も見ねない我校の主義として毎月兒童の體量を試驗してゐるが矢張其都度

◇却て平均の體量は增加◇

してゐる方で勿論中には減少したのもあるには違ひないが大體そんな塩梅であるから食物なんかも物價が騰貴したからと云つて

◇別段變動もないらしい◇

尤も多少鷄當等を見ると今までより肉食が減じて比較的安價な菜で事濟む樣にしてゐる樣にも見ゐるが之はほんの一部分に過ない樣である其他に於ては別段取り止めて云ふ程の事もない樣である（平壤）

蠶況

★蠶種製造率（平南）

平安南道內春蠶期に於ける蠶種製造者は三十五名にして此の掃立蟻量二百九十八匁なるが其製造額二萬六十枚なりしと

◎安東の煙草戰

◇奧地より註文殺到す◇

安東縣に於ける莨の販賣は東亞莨と英米トラストとの對抗戰なる事は世人の熟知する處なるが東亞莨安東販賣所に就て聞く處に依ればトラスト側に於ては歐洲大戰亂の餘波を受け原料製造共に幾多不便不利の點尠からざるに拘らず數年來買込み來りたる刀牌即ちパイレートを提げ奮戰大いに努め東亞の販路の擴張に努めつゝある結果其の成績は頗る優秀なり安東縣販賣所の區域は安奉線は鴨河口以南鴨綠江の上流は通化、輿京、帽兒山、長白縣一帶にてパイレートの對抗品とするにスピヤを以てしつゝあり口付は主として日本人向きとして朝日最も勢力を占め朝鮮人向きとしては兩切のウエルス最も有望なり同所一箇月の販賣高は約三萬圓なるが近頃滿洲の奧地長春ハルビン等より支那商人の買出しに來るもの漸く多く其の需用を充たす能はざるの現狀なり是れ畢竟するに時局に伴ない多數各國人の入り込みたると同地在庫品の減少と營口大連よりする輸送の困難の結果なるべし要するに今安東地方に於ける莨戰はトラスト側は到底東亞の敵にあらずとするも其の勢力や牢乎として拔くべからざるものあるは事實なるべし（安東縣）

◎釜山經濟界
◇朝鮮銀行支店調査◇

釜山に於ける米況は政府調節米の移出に氣配強硬となり客月に入り連行運賃遂に玄米四十六圓の珍高値を唱ふるに至りしも中旬に至り內地米騷動の餘波を豪り一變して約五十丁方も慘落し市場沈衰に陷りしも間もなく內地各都市よりの廉價米の買付け殺到すると同時に陸軍納入米及び手搗米約七千石の引受けに因り徐々に引戻し高含みの商狀を呈せる爲め當府の安寧平和を保持するの必要上窮民に廉價米の供給を計る爲め釜山臨時救濟會の設立を見次いで當局の警告に米穀業者は他港に先だち穀物調節會なるものを設け米穀移出に對する自發的制限を加ふることに決せる折柄偶々內地收用令の發布となり兩々相俟ちて相場は保ち合ひの儘越月せり▲綿絲布界は米棉作柄の不良及び印度方面の輸出旺盛なる爲め內地氣配常に强調にして又一面鮮內地への移入不足の爲め鮮內地在荷品薄の爲其間に一種の先高思想の隨伴し來たり仲間取引盛んに行はれ轉賣買せらるゝ額尠からざると同時に需要季に近づける關係上地方活氣を帶るに至れり當市場に於ける二大商品に就て前述の如き盛況を呈せる爲め却つて資金の移動盛んに行はれ金融業者の放資額の如きも資金需要の最盛季に比適せん許りの繁忙を極めたり尙來月に入るも大豆棉絲布資金の需要を喚起すべく勞々大なる減退を見ることは無かるべしと思はる

◎東淸線罷業後聞
ホルワット將軍何等か恃む所あり

同盟罷業側の氣勢幾分か鈍つて二三日前より靡々復業して來る勞働者が增ねて來たが併し中心分子の鼻息と來たらまだ素晴らしい勢力である軟派の勸めも頑として聞かず却つて軟派の復業を喰止めようと努めてゐる有樣で東淸鐵道廳は

七百名を馘首し

たりと云ふがそれは眞實らしい又露國軍隊側は罷業者を嚴重に處分すべしと憤慨してゐるがホルワット將軍は南方から板挾みになつて四苦八苦の苦境に陷つてゐる樣であるが併し何等か恃む所あるが如く妥に二三日待たるべしと軍隊側を抑へてゐるとの事である多分將軍の胸中には妥協の光明を認めたからであらう目下唯一の問題は

職業同盟會の公認

であるされども之は前回の同盟罷業の際郭總辦が命に依つて解散させられたのであるから同會が如何に公認を迫つた所が支那側に對する關係上右から左に承認する譯には行かず況して東淸鐵道

勞働者の殆ど全部

を網羅して居る甚だ容易ならざる勢力を有する同會の復活を許すが如きは禍根を將來に貽す原であれば鐵道側の決して承認すまじき所である然し將軍の胸中賴む所は

抑も那邊にあるか

忖度する事は出來ないが而も罷業に加盟しない連中を驅り集めて不正確ながら列車の運轉を繼續し同盟側にも何分軟風を吹き込んで居るのであるから右現象に徴して本問題の解決期も近き將來なりと見て差支なからう（奉天）

★☆星☆★
（談）在平壤　某專門家談
飛行機で行つても九十年　海王星へは三千年以上要る

月世界への旅行

前には天空に關する概略を述べて置いたが愈々本題たる星の間に遷らう我々が棲んで居る地球から星までの距離は何の位あるかと云ふことを先づ知る必要がある天體の內で最も地球に近いものは月である其の距離は時によつては多少の異動があるけれども大體に於ける平均距離は二十三萬八千八百四十哩である今假りに一時間六十哩を走る汽車で月の處へ行くに晝夜間斷なく進むとしても五箇月半を要するので其內一番近い星は金星である

宵の明星曉の明星

といふのがソレは何れも同一であるが此頃は曉の明星になつてゐる此の星が地球に最も接近した時が約二千五百七十萬哩ある、それからロエスと名づくる肉眼で見ゆない小惑星や火星は近い時には三千萬哩位である序に話して置かう

太陽までの距離

は約九千二百八十九萬七千哩であつた假りに一時間百二十哩を飛ぶ飛行機で間斷なく進んでも八十八年四箇月餘を要する太陽系の最外端に位ゐせる惑星は海王星で地球から最も遠い惑星であるので大きさは地球の四倍以上あるけれども

肉眼では見えない

其距離は約二十七億九千六十萬哩といふ途方もない遠距離で一秒時に地球を七廻り半する太陽の光りさへも其處まで屆くには約四時間半を要するといふことである、若し之を飛行機で行くとしても三千年以上も要するので日本の紀元より未だ永いのである

太陽系統の直徑は

約五十六億萬哩で其間に水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星等の大惑星及び八百有餘の小惑星と惑星を廻る數十の衞星無數の彗星及び流星等を含むものである

◎藝妓のストライキ
◇釜山の藝妓四十餘名が◇
一切客席へ出ぬとの決議

釜山に斯んな騷動が持上がりました夫レは釜山警察署に於て管內の藝妓四十餘名に對して健康檢斷を行ふことになり朱藝廢檢黴の宅に一同を召集した迄は無事でしたが

娼妓同斷の檢黴

を行ふ事にしたので俄に藝者連が騷ぎ出したのであります、頭大りしも騷ぎをして揩つた揉んだの揚句やう〳〵年寄の藝者と半玉だけは許される事になつたが何うしても

歲の若い盛の妓

は身體檢查を行はなければならぬといふ嚴命に對し鳴戶樓の七五三蔦、市子の兩妓は假へ如何な事があつても檢查を受けぬと拒んだので係り主任の武藤警部が即決にて

拘留七日に處し

たのでココに騷動は徐々昂まりましたそこで藝者側は最初樓主連からされて來たのに來いば娼妓同樣の檢查を受けたといふので

一同頗ぶる激昂

し今後一切客席へ出ぬとの決議をしたのでありますが何しろ餘り類のない紛擾ですから此納まりは何うなるだらうと釜山の花柳界では大恐慌を惹起して居ります（釜山）

◎惡い流行で
◇平壤の人は迷惑する◇
自轉車の盜難頻々たり

平壤に於て自轉車の盜難被害頻々たるより平壤署に於ても各刑事巡査を初め其他の巡査も極力犯人捜査に從事し居りしが此程非常なる犯人續々檢擧せられたるも未だ同樣犯人にして大網を免れ居るものあり平壤監獄署の某看守長が平壤驛に赴き同驛待合室に置在りし自轉車何者かに窃取せられたる旨届出あり目下犯人嚴探中なり（平壤）

農信

★五年越に見ぬ
豐作（平南の大豆）

平南に於ける本年大豆收穫豫想高は二十四萬六千四百四十五石にして前年の實收高二十二萬七千三百八十五石に比し一萬九千六十石即ち八分三厘八毛の增收を見込み居れるが本年は一般播種後降雨無かりし爲め一時生育憂慮を生ぜしめしも六月中旬以來降雨あり以來氣候適順なりし爲め生育佳良となり隨つて前揭の增收を豫想し得るに至りたるが大正二年以後既往五年前より比較するも本年の如き增收を見込なること稀なりと云へり

◆東京うはさの噂◆

蒙古風俗

露兵司令官の石光少將の談に蒙古といふ處は一度は行つて見る價値は確にある、見做ふべき事ではないが我祖先の時代を追想する事が出來る

◎其の風俗は支那の國境に近づく程支那人に近いが奥に行く程太古に逆上る感がある、恰度ぼかし模樣でも見る樣で國境の蒙古人は支那服を着けて其の心理狀態迄支那人に相似寄つてゐるが奥の方では大古の繪で見る樣な長い服を着て細い帶を締め腰の周には小刀莨等種々なものをブラ下けてゐる

◎食物は上流では羊肉を食してゐる樣だが普通一般牛乳を基とする、穀ものを食してゐる、穀物も少しは食してゐるがそれは黍類のものであつて、而も其の作り方に於てはいよ〳〵自然に任すのである

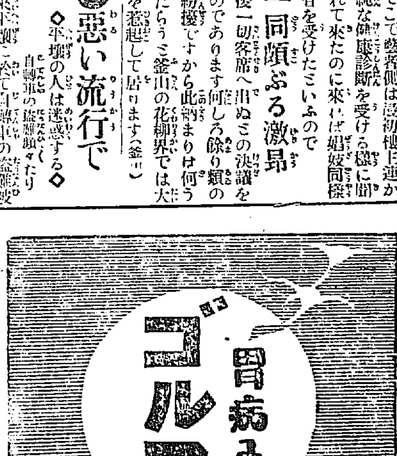
◎土地を耕すでもなければ肥料をやるでもない、只草原に種子を蒔き放ち其の出た穗を取るのである、國境に近づくに從つて漸次耕作をする樣である、住宅に至つては天幕であつて、夏と冬とは其の住所を變更してゐる

◎常に牛と車とは準備が出來てゐるので引越などに於ては實に簡單なものだ、天幕と家財を車につけ、家族も之に同乘して牛に曳かせて意のまゝに引越すのである、一般に於て彼地の人々は音樂の趣味が深い樣で、晝は羊を追ひ牛を曳きなどして樂に從ひ斜陽の影薄らぐ頃芝生の上に一家圍く〳〵、或は胡弓の樣なものを奏で、或は蛇味線の樣なものを彈じ、蠻々縷のな聲を張り上げて唄ひつゝ樂む有樣は實に何とも云へぬ感に打たれる、と（東京支局）

かつけと尾崎糠精

都築ドクトル　村井弦齋先生　命名實驗證明

販賣元　尾崎兄弟商會　東京市芝中谷町
◎全國各藥店にあり◎



胃腸を損ね病氣にかゝり易き秋口は
食事の後には有名なるタカヂアスターゼを主藥とせるゴルフを服用して胃腸を强健にするが何よりも安全第一

定價　貳拾錢　五拾錢　壹圓參拾錢（細用）

東京室町　泰昌製藥株式會社

淋病新藥　ツヨール

故下山藥學博士、慶松藥學博士ご證明、田中藥學博士實驗、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士、笹川醫學士、加藤獨國醫學士、山田獨國醫學士等の實驗の結果理想的內服淋劑と確定す

本品は殺菌力を有し且つ絶對に胃腸を害せず膀胱カタル、尿道炎、丸炎、副睾丸炎、淋毒其他一般淋病に特效あり

百粒入壹圓八拾錢　五十粒入九拾五錢　三十粒入六拾錢

◎說明書無料贈呈　製造元東京日本橋ツヨール商會　△發賣元大阪道修町・田邊五兵衛　振替大阪八六七番

日本海上保險株式會社

新株募集

日本海上保險株式會社新株式募集

額面以上ノ價格ヲ以テ發行スル新株募集規定

當社在來資本金參百萬圓（六萬株）ノ處大正七年八月貳拾參日臨時株主總會ノ決議ニ據リ金壹千萬圓（貳拾萬株）ニ增資決定シ增加新株式拾四萬株ノ內同年九月十日株主名簿記載ノ現在株主ニ拾貳萬株ヲ割當テ殘數貳萬株ノ內壹萬貳千株ハ左ノ方法ニ依リ公募ス

募集規定要項

一募集株數　壹萬貳千株
一募集金額　金六拾萬圓
一申込價格　額面以上（額面超過金額ハ圓位以下ノ端數ヲ附セザル事）
一壹口ノ申込株數　拾株以上
一申込證據金　一株ニ付金貳圓五拾錢（第一回拂込金ニ併算ス）
一申込期間　大正七年九月拾日ヨリ同月貳拾五日迄（期日以前ト雖モ申込ヲ受ク但郵便ニ依ルモノモ同日當社營業時間內ニ到達スル事ヲ要ス）
一募入決定方法　額面超過金額ノ多キモノヨリ順次募入シ最低額ノ申込カ殘株數ニ超過シタルトキハ按分比例ニヨリ募入株數ヲ決定スルモノトス
一第一回拂込金額　壹株ニ付金拾貳圓五拾錢也
一第一回株金拂込期日　大正七年拾月貳拾日迄
一申込手續　當社所定ノ株式申込書及印鑑ト倶ニ申込證據金及額面超過金ヲ添エ當社本店ニ申込ムベキ事

申込用紙ハ當會社本店竝ニ左記ヘ御請求被下度候

大阪市西區江戶堀南通貳丁目百四拾四番屋敷
日本海上保險株式會社
電話土佐堀（長）三三〇番　三四番　（長）三三一番　三四八番　三三二番　三五番　三三三番　三六番

東京支店　東京市日本橋區蠣殼町
神戶支店　神戶市榮町通四丁目
橫濱出張店　橫濱市本町二丁目
小樽代理店　小樽區色內町八丁目
名古屋代理店　名古屋市中區新屋町三
門司代理店　門司市港町二丁目

汽車發着

▲京釜線南行 南大門發 前 九、三〇 後 八、二〇

▲同上北行

▲京仁線

▲兼二浦線

▲湖南線

▲群山支線

商況

東京期米特電
十八日後場 止 二十七圓四十六錢

兵庫期米特電
未着

大阪株式特電

銘柄	拂込額	十七日後場
宇治川水	五〇、〇〇	[illegible]
京阪電鐵	五〇、〇〇	[illegible]
東洋紡織	五〇、〇〇	[illegible]
金巾製織	五〇、〇〇	[illegible]
鐘淵紡績	五〇、〇〇	[illegible]
同上新株	五〇、〇〇	[illegible]
東洋汽船	五〇、〇〇	[illegible]
大阪商船	五〇、〇〇	[illegible]
日本郵船	五〇、〇〇	[illegible]
同上新株	五〇、〇〇	[illegible]
堂島米穀	五〇、〇〇	[illegible]
東京株式	五〇、〇〇	[illegible]
大阪株式	五〇、〇〇	一七〇、三〇

大阪三品特電
日後場
九月限 四〇二、九〇
十月限
十一月限
十二月限
一月限 三九四、二〇
二月限

大阪期米特電
十八日後場 止 二十八圓五十九錢

下關期米特電
十九日商報 小荒れ模樣氣勢へ買氣強烈にて各地高も移せるが人氣添はず僅かに押目買市況也

	當限	中限	先限
寄付	…	…	[illegible]
高値	…	…	[illegible]
安値	…	…	[illegible]
止め	…	…	[illegible]

雜報

●石油入荷影響
米油は輸入困難の結果前途供給の不足を未前に防がんとし之が調節上疾くより鮮内配給上に制限を加へつゝありし折柄今回の滿鐵輸送難より大蹉跌を來し來入荷も杜絶し英油又入品全く皆無となり近來内地油の移入も漸く途切れる折柄市場在荷の大缺乏を來し遂に奸商の乘ずる處となりて既報の如き無謀の高値を呼ぶに至りしが會社側に於ては之が緩和上應急策に努めし一方鐵道側にも貨車繰りの促を與へられ結果漸く**英油二百箱の入荷あり米油又之に增せ廻著**を見るに至り元より此等の各販賣店に對する配給の不充分なるは免れ難きも人氣の緩和上其効果決して少なからず**尚續々弗々入荷**を見るに至り同時に市中氣配も**漸く低落模樣**を呈し此數日來十三圓迄上りしもの今日にては**一躍十圓迄引下**がりたるが市中は尚全く鮮調を缺せず**鮮商側にて尚十三圓内外の高値**を唱へつゝあるも少なからざる由なり一方特約店側にては**松商八圓三十錢と建値通り**に英油は四圓五十錢位にて販賣し居れり

●正米弱持合（正米）
は引續き氣配軟調なるも本日は恰も鮮盆に當り出合少なく市場取引別項の如くにて啼ぎ商内行はれず依然買人高唱へ買入安値附にて**脱合の裡に傍觀の態度**を採り居れば氣配も幾分弱く來持合ひの姿也

●燐寸依然强硬
燐寸は其後多少の入荷ありしと雖も在荷拂底後にて尚市況の緩和を見るに至らず**黄燐七十圓近**かくの見當を唱へられて手持筋の意氣頗る強し且つ製造元は生産費高騰に伴ひ本品騰貴して天井知らずの情勢にあるのみならず其他の工賃高にて各自强硬なる態度を持しつゝあり一方南支並に北支方面よりの買氣は引續き旺盛にて就中北支の如きは思惑筋の買付もありて市價の飛騰など意にせざるものゝ如く

●大阪市場は十六日は安く**全六十一圓黄燐五十九圓**を唱へ記録破りの新値を示すに至りしより當地は輸送難係の外更に今後の元高影響を受け一層人氣を高めん模樣なり

●白米更に値下
日本人向白米は市中販賣の鮮白及び外米に壓され賣行き不良の處へ原料は日々軟調の傾きを示し相場徐々下押し來れる結果自然白米相場の低落を促がし市中卸値は最近二回に一叺方の値下げを行ひたるが今回**更に五十錢方を引下**げ一等米を三十八圓五十錢となし本日午後或は明二十日より之を實行する筈にて勢ひ**小賣値も同率に五厘方の値下**げを見る可く一等米を三十九錢二等米を三十八錢五厘となす筈なり

●小麥は强硬（小麥）
は既に新物相當の出廻りありしが酒類物は昨年に比し甚だ著しく減少の氣味あり河筋物は古品の殘存尠少なりし爲め何れも醸造へ**順調に消化**せられ此處在荷の少なき爲め好配せられ居れり相場は**合格品**にて買人十九圓唱へなるが中値**十八圓六七十錢**未改良品にて十八圓内外なるが醸造向も大部分行渡りたる爲め商内餘り多からず

●大麥は不味（大麥）
は其後軍需買付一段落後兎角不振の成行きにて取引極めて閑散なり一時輸送不能の爲め停頓せし地方買附品も漸く貨車の配給を得て入荷しつゝあり**相當纏まり廻著**あり相場は西鮮物にて十八圓五十錢唱へなり

●支那粟不勢（支那粟）
は新規入荷少なしと雖も正米商の持越品今尚多く且つ正米漸落に際し**氣乘薄**にして賣物は二十五圓五十錢處なるも買人は**安附口**に見送り居れば一定せず商内見送り閑散なり

●大豆薄商（大豆）
は移出口の輸送叶はざる爲め買氣進まず**本龍山物**の配軟調なり相場は**十四圓五十錢**なるも出廻りには商談見送り模樣にて商内なし

●内地糖好調（砂糖）
市場は漸次好調に向へるが十六日はジャバ糖一ギルダー引上げに接し東京分蜜九十月限二十一圓三十錢の高値に刺戟され相場は分蜜九十月限十五圓四十錢へ居れり而してジャバ糖の引上げはキューバ**同糖の割**安にも係らず**米國の買氣旺盛**なるを見越したる結果に外ならず本邦の糖價は自然騰勢の筈にて買人安値にせらるべしと觀測せられつゝあり

●内地麥類軟調
農家並に地方商人の思惑的買惜みに某大手筋の買煽りも加味せしに由り前狀況騰貴し農家と提携したるも政府が此狀況に着目して何等か之に對する方法を講じつゝある模樣なること一方

●兹漸く手持品を賣放し來り氣配軟調
入荷に向ひ最近四五七八日の成行きを示すに至れるが本品昨今の相場は一般に至れる處石二十五圓見當にして他物價に比し格安は本年來目の認むる所なれば本品の下押しは至當なる可しと稱せらる而して昨年度に比し**約三割の減收**を見た

●**大麥**以外は昨今雜穀の出廻り促るより兹供給不足の懸念更になく且つ頃日の高値を以て農家は各郡倉庫に於ては殆と無き模樣なるより兹供給に出盛りの結果人氣不良となれる有樣なれば從つて市況は軟調を示しザリ安歩調なるが麥の成行なれば菽麥類は一般に漸落傾向なり

●染料の其後（染料）
は其後米國より輸入ありし爲め一時の高値を維持しつゝあり**幾分引弛**みしも六斤罐は原料高に添はず依然持合ひの儘通し來れる丈け價格も低き一部の物は加工不引合ひなる**オーロミン**（染料）の如きは**全然加工中止**せるものあり鮮盆前の荷動きは案外好況を呈し了り今後一段落せるも染織用の需要もあり盆後一段活氣附かん

仁川米豆取引所仲買人 志 仲買店 電話二八二・長二八三番

各地商況

●大邱米況（十八日） 當地正米は日來特約米相場先買の小口商内に過ぎず本日も雨天の爲め需要皆無にて在庫品には品急ぎ物なく一方買方に於ても新米筋は一層在庫品の如く商内仕掛け無之市況頗る閑散にて目立ちたる商内なく十七圓見當保合の商狀なり

▲新大豆氣配 本月初旬物にて十五圓見當商談中

▲木浦米況（十七日） 依然として市況
▲玄米（改良） 振はず商内無し輸出筋氣配弱く爲め氣配軟弱の傾きあり三等玄二十九圓見當なるも人によりては二十八圓七十錢を云ふ呼聲あり一ばんに見送り居れり
▲穀（保合） 本日の出廻り三百叺ばかり市況相變らず鈍狀なるも取引あり七圓二十錢より七圓五十錢を唱ふ

定期米穀賣買 仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店 仁川海岸町三丁目

京城正米市場
連日不況の市場も本日は恰も鮮盆に當り出市者マバラにて引底き買人側一齊見送りの際にもあり場内閑散とし市況は弱氣に上米二十叺二十九圓四十錢の口出來たるのみなりし氣配は依然軟弱の裡にも安値は値段折合はざる爲め先づ前日の處を見越す可なるべし

南大門廻穀
釜山小麥 三二〇叺　安東粟 二七〇叺
島山沙麥 四〇叺　沙里院白 二五叺
安東小豆 一〇叺　郭山 二六叺
西井里白 二七叺　高浪大豆 二二叺
元山白米 四〇叺

仁川正米
穀の入荷弗々あり相場七錢五六十錢を唱へ居れり チョッポク米の格米二十三錢不良にて七圓五十錢にて出來たり各糖米筋は見送り更に安人氣を唱へ居れり

釜山穀市場 十七日
▲玄米（弱保合） 今市場にては相當取引行はれたるも引續き抄々しき買進みもなく氣配は大發に於て民弱く保合ひの姿なるも品に依りては三四十錢安を呈して不味の商勢の裡に百五十九十錢にて商内出
▲中白米 買物は亦々現はるゝも値は別項の如くなり見越人なく氣配は頗る軟

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 今村覺次郎 電話長三三・三六八番

生魚市場
京城日の丸市場 仁川物の外本日は元山物あり其他釜山鯖を合せ昨日より稍々廻著多かりし
ゝさわら三〇△すゝき二二七△ひらめ一八△かれ二〇△はも二二△さば一八△くろまひ一七△めばる二〇△にび一六△かつ二二△さより四五△たこ一八△あわび五〇△あゆ三五△赤は四

▲新大豆 仲々の取引行はれつゝあるが買人は川廻り期のこととて付値安く買進まざる爲め氣配は不味に傾き前報後三四十錢安にて十五圓八十錢見當相場也
弱にして今市場では島致院市白米三十一圓三十錢にて五十六叺の取引行はれたり

仁川期米

▲十九日前場
大阪昨後場止八圓五十九錢東京四十六錢今朝前寄未着にて當地先二十四圓七錢と**二錢高に寄**付きたるも天候の恢復に賣物多く三錢と押したるが押目は又買物現はれ五錢と返し依然持合**氣乘薄**

市場雜觀
▲十八日の天候模樣當日各地前寄未着にて當地先二十四圓丁度に寄付きたるも買物多く一錢安に押したるが押目は又買物十六錢と返し一節三圓九十八錢と押したるが買物多く九十九錢より七錢と返し一錢四五錢〇一錢より四圓丁度と上りたり

錢止め兵庫八圓十一錢より六節三十錢の入帳
▲後場は各地高を受け當地先二十四圓〇八錢と七錢高に寄付きたるが九錢と跳れたるも戻りは依然賣物多く七錢と押して一節を送つた二節〇七錢より六錢三節〇六錢四節〇五錢より動かず引市況は前場の下寄りに反し各地高を受けたるも存外伸びず保合の裡に頭重き成行を示したり
▲小雨降りたる天候も回復模樣に出づれば時節柄無事ならん物多きを見て嫌氣を生じ低氣壓の襲來もなきやに反し高値は又存外頭重く結局保合を持續し居るが前報せし如く朝鮮の盆に際したるも者に込み買りもならず目先商略の狀態を囲り返す外なからん▲相場の保合ひを相當の朝鮮の盆に際したるより來客筋は手仕舞臨省したる者多きが地方の情況を見て再び來り如何なる態度に出づるか將た正米より今尚強保に在るを係上買に出るかによつて一變動あるものと思はれる果して如何あるべき

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 三巴仲買店 電話二二二・二四一番 振替口座京城四〇二番

仁川米豆取引所
十九日の十一月限

前場	
寄付	二十四円〆七錢
高値	二十四円〆七錢
安値	二十四円〆三錢
止め	二十四円〆五錢
出來高	四千三百石

平均値段	
一節	二十四円〆五錢
二節	二十四円〆四錢
三節	二十四円〆三錢
四節	二十四円〆五錢
五節	二十四円〆五錢

北濱たより

▲利上げの影響
日銀の利上げは株界に取りて悲觀材料なる事は今更云ふまでもないのであるけれども日銀が二厘方を引上げて一錢六厘となしたるは市中の貸金利子は既に年六歩日歩一錢六厘四毛となり居りて其の間に鞘の開きあれば此の引上げを爲したりとて別段に財界に惡影響を與へざるべしとの信念より之を斷行したるものであると當局の證明もあり事上に於ては何等の影響は與へざるべけれども物價調節は通貨の收縮を以て根本とせざれば到底之が爲し能はずとの議論盛んに行はれつゝある際に於て政府が日銀の利上げを斷行したのは政府當局者の意嚮も之に傾きたりと見る事が出來るから今後尚ほ此の政策の下に如何なる方法を講ぜらるゝやも知れぬとしたならば利上げは事實上影響なしとするも安心して株を買ふ事は出來まいとの感念を與へて一層警戒勝ちの人氣をなして買氣を萎縮せしむるに反して持株筋などは縱しや遁株せざるまでも値下りを保險する爲めに賣物にも幾分なり緊を加へ戻りは期待し能はぬであらうとの觀測も一部に行はれつゝありき

仁川米豆取引所指定 倉庫

▲紡績株
原綿相場から打算すると今日の系價は會社に利益無い勘定となつて居るから前途の案敬を要せざるゝはもつともの次第であるけれども從來の如きボロいもうけが永久的に續くものなれば紡績株は今日の低い値頃に居るはずは無いのである左れば今日の値頃は既に幾分の不良を見こし幾分の減配を見込みたものとしたならば之に買退ふても左して大なる收利があるか疑問であるのみならず今期の如き尚は會社とも相當の業績を舉げて敢て前期の成績に劣らぬといふから急に配當を減少するやうな事は無いであらうから成績悲觀の爲めに値頃を無視して安値を買込むのは大に考へ物ではあるまいかに思はれるのである

卅六番角力

毛谷村六助　第十三席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

毛利輝元侯が女ご氣遣ひ仇討出立のお許しがございません、なれごも不倶戴天の親の仇、夫の敵此儘に捨置く譯にはなりません、假令女であらうとも討てぬことはあるまい、吉岡の娘は一味齋の氣質を受繼いて、劍術或は柔術薙刀等も一ご通り習ひ覺ゑて居ります、親子三人心を合せて立對ふ時に於ては討てぬこともございますまい、何うぞ御許しの程を願ひたいご度々願ひ出まするが、輝元侯は御許しがございません、スルご高弟絹川八十右衛門三女の心を察しまして吉岡の許へ參り『何うも奥樣何分大守の御許しの無いご云ふのは、女ばかりの事でありますから其故危み玉ふこの事でございます私も大恩受けましたるお師匠樣の仇、是非此の八十右衛門に御供を仰付けられまするやう、然らば私が貴女方を保護いたしまして、何處如何なる處に隱れ忍ぶとも必ず探しだしてお討たせ申します、何卒お供の儀を願ひたい』段々申し入れまするが 八重『絹川氏、貴下の仰せではございますが、假令娘園こは許嫁こは云へご未だ祝言の盃をいたしましたるでもございません、然るに貴下が我々の仲に交つてお出下し置かれては世間の人の口の端にかけられますのも如何ご思ひます、何うぞ此儀ばかりは平に御容赦下されて唯妾共三人にお任せを願ます』何うしても同道しようこは申しませい、是によつて絹川八十右衛門も致し方がない、仇討ちいふことを思ひ止りました、何分再三再四の願ひは是等の心を愍然ご察しになりやう〳〵のことで殿にも御承知に相成ました、或日三女をお目通りお呼出しになり 輝『其方共再三の願ひ女ながらも天晴なる志其の心底に愛で許し遣はす、然し其方共他に誰か供人でも召伴れるや』こお訊ねがございました 八『決して供の者は伴れません、絹川始め門人の方も同道をご申しくれますが男女混合いたしての出立は却つて宜しくないこ心得ます、我々三人にて出立をいたしたき心底にございます』輝『ウム天晴なる志、然らば仇討免狀を取らせる、萬一主に此の免狀を示し其の上當國へ急使を以て通知に及べ、何處如何なる處にても當方より檢分の者を遣はすぞよ』こ金子二百兩餞別こして下し置かれました、仇討の免狀を頂いて三女の喜びは如何ばかりでございませう、嬉し涙にくれました、それより御目通りに於てお盃を頂戴いたし有難く御禮を申し上げて御前を退り居邸へ引取りました、早速出立の用意に取りかゝりまする、絹川八十右衛門を始め一同の門弟見送ることになり 八重『何を云ふにも女の事故第一返り討にでも相成ました節は何分跡々の處を絹川氏貴下へお願ひ申して置きます』八『如何にも其儀は承知仕りました、若し敵の行方が判りましたる節は御通知を願ひます』お八重親子は順禮姿に身を窶し、母のお八重は信國娘お園は行光、妹お菊は國安の一刀をいづれも菰苞に包みまして脊負ひ手には柄杓を携へ親子三人表面は夫の菩提を弔はんが爲國々を廻國をいたすといふ扮裝でございます。お八重は廣島を立出て夫一味齋の兄吉岡治左衛門が京都に居るといふこを聞きまして、それから此の治左衛門の在所を探ねて參り吉岡治左衛門の所を探して見たが判りません、乃で詮方なく又々中國路へ引返し出雲石見、播磨、美作、備前、備中ご諸所を廻り遂に向地へ渡り豐前國へ參り毛谷村の六助を探ねた處、不思議にも茲に敵京極内匠の手係りを得ることになりました、お話は枝葉に渡りますが、お八重親子が探ねました一味齋の兄吉岡治左衛門の傳記を因によつて次回に申上げます

牛乳 病院用 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

皮徽科專門 外科 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二二五八番

○安東縣近事

▲情報局員通過 米國情報局員アーサー、ブラード氏夫妻は十六日午後零時三十四分發列車にて長春へ向へり

▲和歌山視察團 和歌山縣教育視察團員十名は二十九日平壤方面より來著元寶館へ一泊の上翌日奉天方面へ向ふべしと

▲福岡教育視察團 福岡縣教育視察團員は來る十月三日奉天方面より來安京城方面へ向ふ旨同報ありたり

▲三重縣視察團 三重縣教育視察團員二十名は十月七日來安同日午後七時半奉天へ向け出發の筈なり

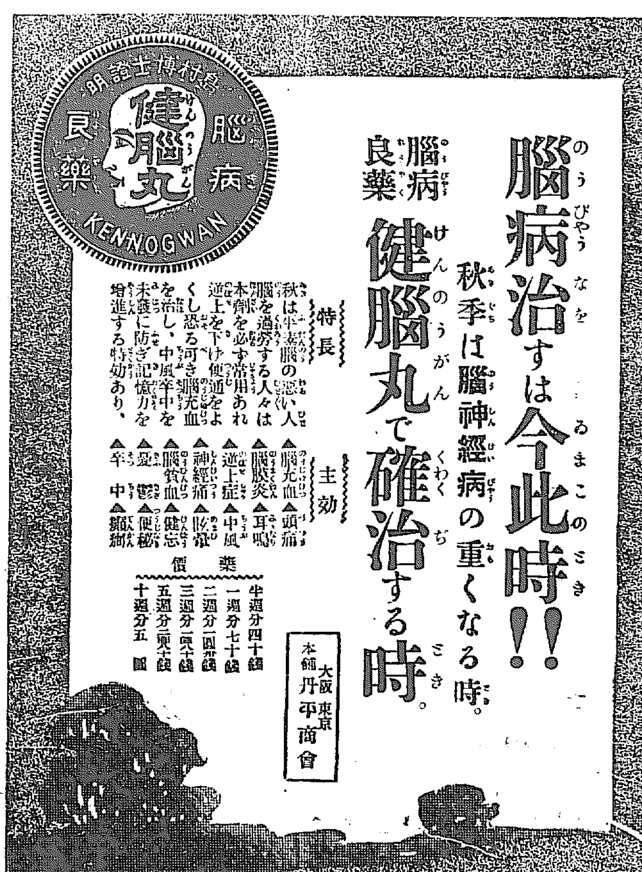
▲學務委員會 安東小學校學務委員會を十七日午後四時より滿鐵安東地方事務所に於て開會大正八年度豫算の件を協議すべしと

▲管理委員會 安東官有財產管理會は十八日午後四時より民團役所樓上に於て委員會を開き土地入札九件に關する豫定價格決定其他の件を附議する由

▲基督教婦人會 安東基督教婦人會に於ては出征軍人に送る爲め慰問袋募集中の由なるが内容は約六七十袋見當として本月二十九日迄同教會へ到著する樣締切るべしと

○不便夥だし
朝鮮鐵道及び安奉線に於ける大輸送の爲め滿洲各地特に奉天以南は貨物の輸送殆ご杜絶の姿にて物價の昂騰也且つ郵便物新聞等の到著亦不定期こなり大連及び沿線居住者は一方ならざる苦痛を感じ居れり

九月廿一日 九星
舊八月十七日 辛未
本命八白 艮開 赤口
▲八白 心痛起き日新事見合 坤の方は吉
▲九紫 望みなる日轉居旅行入學名弘求職探縁金談婚禮産等萬吉
▲一白 ぼんやりした事有日新事手控



第五版

京城日報

京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
發行兼編輯人　奥田[illegible]
印刷人　小川三之介

……多くの羊毛を産出しないだけに其……價格が騰貴するといふのは已むを得ない……この不足の分は今迄は濠洲か……羊毛の輸入を仰いで居つた次第である然し乍ら時局となりて英本國が其輸出を禁止したので今では……れ之に反し▲支那の羊毛の産額は可なり大であるが我邦の不足を補ふて充分餘りあるがこれも矢張り品質が劣……分取り入れなくてはならぬ……る目下我邦に於ける消費額は五千萬圓であつて我邦一般に上等な羊毛を用ゆる贅澤な風習が殘つて居……希望するのである而して男子の着用する背廣服の如きは古服の毛や木綿や下等な毛などで織出された……年……節約を……遠の如き四境敵國を以て圍まるゝの地位に陷らんか羊毛の不足は一國の獨立を危くするに至るのであ……のもあるが今の……に此等の……者に滿足を與ふることは出來ないが近き將來に於ては必ず出來ることゝ思ふ(月田畜産園長談)

南北協和如何

京城日報

徐東海が大總統當選後、支那に於ける輿論の趨向を按ずるに、其の南人たると北人たるとを問はず、一般に平和を翹望して相慶するの狀あり。北京上海等に於ける諸新聞紙の如きは、徐に對して所有頌揚の辭を列ぬるを辭せず、又其の就任を慫慂する至れり盡せり。徐氏の當選が何故にしかく歡迎せらるゝか、是れ支那國民が既に年來の紛爭に飽き、一日も早く南北協和の成立を希望し居るの際、徐氏の政策が必ずこゝに出づべきを想望するに因らずんばあらず。

世界いづれの國民と雖も、亂離を喜ぶものあるべき筈なきも、就中支那國民ほど平和に憧憬するものはあらず。而も支那の國狀が常に國民の希望に背き、革命に繼ぐに革命を以てし、紛亂殆ど絕ゆる時なきの有樣なるは、要するに其の政治家、權勢家の間に、排他濟私の念強く、勢力の衝突あり、利害の衝突あり、野心の衝突あり、國家民人を以て、一個人若くは一二黨の、其の私的慾望を逹するの道具として取扱ふに由らずばあらず。故に今日現に結びて解けざる南北紛爭の如きも、彼等にいはしむれば、双方とも其れ相應の理由[illegible]を見れば、畢竟兄弟鬩牆のみ、狗も喰はざる夫婦喧嘩のみ。而も一方の勢力にして、他の一方を制壓し、之をして己が意志に服從せしむるを得るならば、理窟や口實をヌキにし、其の實力問題として猶取るべきものなきにあらざるも、其處が倔までも支那式にして、強きは口の觸に止り、實力の皆無なることそ憐れなれ。例へば武力解決を主張する北方とても、僅に長沙岳陽等を奪回するに止まり、南方の根據たる兩廣雲貴等には、一指を染むる能はず。又南方に在りても、非常國會を召集し、政治機關なごを備へ、獨立團體たるの面目を裝ひありと雖も、交戰團體として列國に承認せらるゝすら、實際望み難きの狀況に在り。かくて何時まで經過するも勝負のつく見込はなく、贏す所は徒らに國力を消耗するのみ。

支那の紛爭は、其の當事者の間には多少の意味あらんも、一般國民は全く沒交涉なり、而も迷惑千萬にも毎に其の側杖を喰はざるべからず。恐れ且に堪ふべからざるの苦痛なるべし。時に衷心誠意より國家民人を以て念とするもの(若し之ありとせば)に至りては、四圍の狀況、最早一日も忍ぶべからざるの時機なれば、何等かの機會を捉へて、南北協和を促進せんと焦慮しつゝあるはいふ[illegible]もなし。乃ち大總統の交迭は、[illegible]く待設けたるの絕好機會にして、殊に徐氏の持論が恰も一般の希望と其節を一にするより、依りて以て年來の宿望を逹すべしと爲し、一齊に歡迎の意を表したるは寔に道理あることなり。

傳ふる所に依れば、徐氏は其就任條件として、段總理との間に、將來の政策に就いて協定する所ありといへり。若果して眞なりとせば、大總統交迭と共に從來の武力解決方針を打切り、何等かの新なる方法の下に、南北を協合せんとするものなるべく、之に對して南方が從來の如く偏屈なる法律論や、過當なる利益分配を主張せざる限り、妥協の成立、必ずしも不可能ならざるの模樣あり。さりながら由來支那の事は、吾人常識の推測を容さず。如何に機運の熟すればとて、途中より如何なる障害が出で來りて、之を軌道の外に推し出し去るやも知れず。加ふるに例に依りて傾神各自[illegible]問題に關する、奇怪なる變態を惹し來るやも知るべからざるも、吾人は隣人の誼として、此際兎に角、無意義の鬪爭を止め、所謂外侮を禦ぐの精神を發揮し、共に倶に戰後の施設に從事せんことを希望して止まず。

文祿役の發端に就て

田中文學博士講演

左の一編は十九日京城高等女學校に於いて朝鮮教育研究會、朝鮮新聞社並に本社主催の講演會に於いて東大文科大學教授文學博士田中義成氏の試られし講演の要領なり

私はこれから文祿役の發端といふことに就いて一場の愚見を述べて見度いと思ふ、併し旅中の事故何等参考書なども無く只記憶に依つて話をするのだから誤りの點があるかも知れぬ、此點は斷つて置く。

此文祿の役が何時頃から起つたかといふと御承知の通り天正十五年豐臣秀吉が九州征伐を致すに當り宗對馬守に命じて朝鮮へ交通を申込ませた、普通是が端緒と云ふことになつて居る樣である。併しながら近頃私の研究した所に據ると、もつと以前から朝鮮との交涉は開かれて居た樣に思はれる。夫は何故かと云ふと東京の前田侯爵家に『朝鮮渡海日記』と云ふものが所藏せられて居るが、是は天正五年に宗天荊と云ふ人が書いたもので而も其原本である。尤も此日記は餘程研究が六ケ敷いが的確に研究へでは此使は織田信長から遣つた使者と思はれるのである。此日記の中に、京都の將軍家から去んぬる元龜元年に使者を差出したが、甚だ後再び使者を遣はしたい、此度は三度目である、と云ふことになつて居る、然して從來朝鮮へ使者を遣つた處の將軍の書簡の文意も書かれてあるが、夫に依ると、將軍義朝に於ては海内の騷亂の爲め暫く都を避けて邊土に漂泊して居つた、所が此度京師を回復したに就て故の如く好を修めたいから使者を遣はすと云ふ意味である。所が元龜元年には義朝と云ふ將軍は無い、其時の朝鮮國王は御承知の通り李昖で京都の將軍は實際は義昭であ(る)。夫を義朝と書いた譯は恐らく此の昭の字が朝鮮國王の名前の字とよく似て居るから之を避けて意と違へて書いたものではあるまいかと思ふ。斯う云ふ例は此日記中に尚ほ二箇所許り見えた。然らば此將軍義朝なる者が使者を送つた元龜元年は即ち織田信長が將軍義昭を擁立して京都を回復してから二年の後である。信長は京都を回復するや早くも朝鮮との修好を企てたものと思はれる。夫から後程なく又使を遣つた事が書いてあり、其次の三度目が即ち天正五年天荊が是に書いて居る如く自ら朝鮮に參つたのである。

答人問鄉里　富澤雲堂

刀根之水流不盡、溶溶東海鏘子潮。常總分疆民朴和、沃野千里不看山。筑波之山萬千仭、凝氣鍾作東海鎭。隱雲知雨現知晴、耕鑿促我吏不吝。如此山水饒吾鄉、不智不仁奈惆狂。孤劍遠成天涯客、廿年徒負好風光。想昔仲秋泛刀水、飛網盡味鱸魚美。搖搖扁舟去又留、淸風明月嘉蘇子。歸去來兮節正秋、年豐穀貴國八州。頗有耕田二頃畜、頤得閑醪聖代謳。嗚呼刀根之東總之北、山光水色明媚國。老來只悔事漫遊、力耕良鄉不修德。

學鷗曰、句句從胸臆流出、朴茂澹醇。所云不求巧而至者。

答人問鄉里　兒玉九皐

四面皆徒山水奇。昔有忠臣世上知。老櫻一樹我鄉美。千載難磨十字詩。

學鷗曰、實事寔錄、非徒作

答人問鄉里　茂泉鴻堂

北距都門百里程。壺碑玉水促情池。時如有尋池爪。松島湖頭把臂迎。

學鷗曰、清澄簡雅無一點粉華之氣

答人問鄉里　大石松逕

滄波東指渺茫間。一髮青螺是故山。山紫水明能引客。航人慣泊淺茅灣。

學鷗曰、純是紀實、絕無虛構

時局と國民思想(十一)

其原因を芟除せよ

貴族院議員　鎌田榮吉氏談(其一)

今回の騷擾は之れが近因としては米價暴騰の結果であるには違ひないが要は一般に物價暴騰し生活難に壓迫された結果で斯の如く物價が騰貴すれば今後何時でも斯の種の騷擾が起らぬとも限らぬ、されば之れが根本的解決を施すことはなつても差支ない程度に收入を增すか或は物價を安くする方法を執るか此の二策を講ずるの外途がない、這は何れにしても經濟上の大問題であるが今回の騷擾は全體に貧富の懸隔の甚だしきに起因して居るのである、乃ち貧者の富者に對する羨望が原因になつてゐるのである、斯る傾向は極端に行くと過激な社會主義となり終には國體に迄累を及ぼすことにならぬとも限らぬ、故に爲政家は之れを未前に緩和し又之れを能く善導することに努めなければならぬ、又此の騷擾は一面より見れば單に惡いことのみとは言はれぬ乃ち下層民の自覺から生じた結果として社會上に於ける位置の改善を爲すの動機を作つたものとも云ひ得る、然らば之等の傾向に對して力を以て壓迫せんとするもそれは不可能である、ごうしても之を善導しなければならぬ又騷擾其のものは惡いには違ひない然し社會の進歩を促す反面の動機を見れば強ちこれを悲觀したり敵視したりするのは間違つてゐる、されば善政を布いて之れを緩和するのが第一の良策である、然らば善政とは如何なる意味の事を云ふか、彼の古い意味に於ける德性人道といふやうなことでは不可ぬ須らく新しい潮流に適應する思想を以て臨まなければならぬ、單に政治の力でありさへすれば好いといふことで遣つたら大間違ひだ。積極的方法を以て先づ全體に之れが方策を講じなければならぬ、局部的療治は到底永久的の根治策で無い、然らば此の全體を善くするといふは當面の問題としては通貨を收縮するといふことにある、此の通貨收縮といふことが物價調節の根本義である、然し世の一部論者は通貨を收縮するは今日の輸出に害を爲し我國工業の發展を阻害するに至るものなりと論斷するものもあるがこれは思はざるも甚だしいものである、今日の如く物價が騰貴して居る場合に於ては却つて輸出の出來なくなるものなることを知らなければならぬ(東京支局)

◎豆腐を鑑定する法

豆腐の滋養分は牛乳に匹敵する位であるが腐敗する時間も牛乳と略同じである夫故衛生の試驗をするに牛乳の代りに豆腐を用ゐる位である豆腐鑑定の要點を示せば第一鼻で嗅いで見ると風味が好く肌がキメ細かりして居るのは先づ安全で、冬に滑いた光澤があれば中分ない又酸いのは表面がヌルヌルして居るを摘まんで見ると糸を引くので判る、保存法は茹でゝ置けば宜しい併し白湯ばかりで茹でると豆腐中の蛋白質が凝固つて硬くなり穀が立つから茹でる時には鹽を少し許り皿に溶いて湯の中に投ぜるとよい(日本農業雜誌)

並行線(八十五)

瀧閑村

『貴郎、父もあゝは云ふもの、會社の事では貴郎を便りにしてゐるのですから、そりやいろ〳〵なこともおありになるでせうが、村上の會社へ入らつしやる事だけは思ひ返して下さいましな、父が申した失禮な言は私からお詫申上げますから、ね、貴郎。』

山本社長が憤然として歸つた後で、靜子は高山に取縋つて賴んだ眼には一杯涙があつた。

『若しそんな事になると、私はごうしてい〻か判りませんから……』

高山はまだ眞青になつてゐた。

『オイ、酒を持つて來い。』

『向ふの會社へ入らつしやらないやうにさいして下されば、父の方へは私からごうとも致しますから、ね、ごうぞさうなすつて下さいまし。』

『五月蠅いな、大畜生呼ばはりまでされれば澤山だ、嫉でも男でも無いと云ふからにや、ごうせお前も取返すつもりだらう。さうなりや此方も意地だ、やる所迄やつて見せる。』

『さうでせうが、父も強ち惡氣で申したのでも御座いますまいし……』

『默言に畜生呼ばはりをされてたまるもんか——こんな家にゐるからそんな事を云はれるのだ、他の方から出て行つてやらう。』と立上つた。

『貴郎。』

『やかましい。』

高山はプイと其儘出て行つてしまつた。靜子の瞼からは堰を切つたやうに涙が溢れて出た。高山を追ふ力も無かつた。世界が眞暗になつた。

夜は靜かに更けた。春四月でもまだ京城の夜は寒かつた。

靜子の顔にはモウ涙の痕は無かつた、机に向つて三通の手紙を書いた、筆を擱くと女中を呼んで

『お前これを郵便へ出して來ておくれ、それから此間中は毎晩忙しくて大變だつたから、今夜は御暇を上げるから、姉さんの家へでも行つてお出で。』と若干の小遣ひを渡した。

女中はいそ〳〵仕度して

『奥樣それでは行つて參ります。』

後は靜子が一人になつた。父の爲には賴み甲斐無き娘、夫の爲には力にならぬ妻となつた。自分の死が若し父と夫との間を調和する事が出來るならば、是に越した喜びは無い。

手を膝にして眼を瞑ると、さまざまに色々な追想が形になつて眼前を過ぎて行く、なつかしい追憶、悲しい追憶——

汽車の窓で見た貫太郎の怒つた顔が現はれて、消えた。

靜子は手筐を出した、そして其中の手紙を一つ一つ讀んで行つた微笑が顔に上つたと思ふと、過ぎて行つた。

其手紙を一束にして庭に下りた。そしてそれに香油を注いだ。春の夜らしい匂ひが立つ、つと燐寸を擦つた、火は油に移つてパツと燃えた。石榴のやうな靜子の顔が赤く映つた。靜子は瞬きもせず其の燃る狀を見入つた。火は次第に勢を失つて、やがて白くなつた灰を夜風が四方へ散らした。

仰向く空には深い闇の底から星が青白い光りを投げてゐた。

靜子は庭から上つて、總ての緣や窓の戶を閉ぢた。そして高山の護身用の短銃を取出した。

鼠がガタ〳〵天井で騷いだ。

突然一發の鋭い銃聲が起つた、硝煙は閉ち込めた室内を罩めた、其煙が上へ〳〵行くと靜子の姿が見えた、靜子は俯伏になつて動かなかつた。

室内は復靜になつた。

第壹回株金拂込公告

拂込金額　壹株ニ付　金拾貳圓五拾錢(證據金貳圓五拾錢充當)
拂込期日　大正七年九月八日ヨリ同年十月貳日限

右は曩に申込證據金御拂込相成候當社株式申込取扱銀行又は當創立事務所へ期間内に御拂込相成度候

▽注意　株式引受人に於て拂込期間に拂込を爲さゞる時は定款第八條により百圓に付日歩四錢の延滯利子を徴收せらる尚拂込の際は證據金領收證を必ず御持參の事

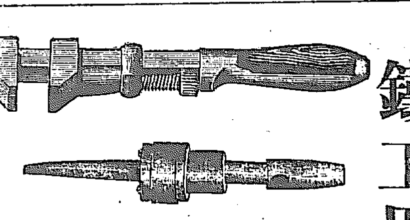
大正七年九月　大阪市東區今橋二丁目九番地(電話本局一九三番)
阿波紡織株式會社
創立發起人總代　谷　進次郎

秋蠶種　特價金六拾錢　送料弊社負擔
京城府龍山　東蠶社　電話龍山六四一番　振替京城二二六二番

飛行少年
◆壹千餘年前の空中飛行(荻川由之)
◆武器を捨てゝ鐵條網を切(伊豆少將)
面目一新せる十月號出づ
探偵小說　生首奇談
歷史小說　雲井龍雄
少年脚本　秋風の曲
定價十八錢　郵稅一錢　東京京橋　日本飛行研究會　振東二六三〇

刮目せよ　世界的自動車業の收入を◎今や本校卒業生の資格を得て自動車界に從事し運命を開拓すべき千載一遇の好機也
本校は最も古き歷史と最も多數の卒業生を出したる經驗を有し且教授上の施設及組織は初學者を愉快に修業せしめ地方在住の校外生と雖内外に活動して莫大の收入と成功とを收めつゝあり
東京京橋市區　東京自動車學校　生徒募集
政府の自動車補助金下附は各地に大會社の設立、製作大工場の勃興、公私乘合自動車の實現、公私車數の激增、東京市街公私乘合自動車の[illegible]、陸軍の擴張等は本校卒業生を迎ふる事切なり依て今回は特に小學卒以上年齡問はず如左募入し此急に應ぜんとす
募集　校外生三百名　六ケ月卒業　申込至急明細書送與　◎校内生三百名　本科二ケ月　大阪市南區町に分校あり

鐵工用工匠具製作



セートル(擴管用)各種
捻子切器各種
タップ、丸角替駒
ドリール各種
ドリール用ソケット
パイプカツタ替駒
イギリススツパナ
ハンマー各種
ハンドボール各種

大阪市東區空堀通一丁目
合名會社　大西鐵工所
電話南二六二〇〇　振替大阪二七三番
營業部
第二工場　東成郡中本町
第三工場　東區北桃谷町
見習工(廿歳以下ノ者)數名
店員(廿五歳以下ノ者)數名
以上募集ニ付御希望者ハ履歷書御送附又ハ御來談アレ

謹啓　愈御淸祥奉慶賀候陳者弊社儀業務日に發展を來し候事畢竟各位の甚大なる御同情の賜物と感佩措く不能候就ては時勢の進運と事業大擴張の爲今般資本金を五百萬圓に增加仕り益々奮勵誠實迅速御便利を旨とし御用相承はり可申候間何卒倍舊の御眷顧御引立の程伏て奉懇願候右御披露旁々御禮申上度如斯に御座候　敬具

大正七年九月

株式會社　常盤商會　社長　松方五郎

本社　東京市京橋區銀座尾張町一丁目一番地
電話新橋特長九五六番(貿易部)　同特長九九九番(貿易部)　同一三五一番(保險部)　同一九七五番(電氣部)　同二五八一番(外國部)　同三〇〇六番(會計部)　同三四四九番(總務部)　同三五八二番(船舶部)　同三五八七番(社長專用)　同三七四五番(支配人)　同三七六二番(工業部宿直兼用)
大阪支店　大阪市東區今橋四丁目拾參番地　電話本局特長七五五番　六四二番　二〇〇五番
九州支店　福岡市博多蓮池町拾壹番地　電話福岡特長二一九三番
朝鮮支店　朝鮮京城太平通一丁目三十八番地　電話京城特長五七六番
橫濱出張所　橫濱市山下町二十五番地　電話本局特長二九九四番

重なる取引國
支那　南洋　印度　米國　英國　佛國　伊國　露國　其他

營業概要

貿易部　□鋼材類　□金屬地金類　□鑛石類　□工業用材料　□機械類　□器具調帶類　□藥品塗料類　□自動車及附屬品　□軍需品類　□織物毛類
工業部　◎電氣製鐵　◎鐵合金　◎特種合金　◎電熱器　◎硅砂　◎坩堝類
船舶部　◎船舶業　◎船舶仲立業
保險部　◎英國リバープール、ロンドン、グローブ保險株式會社　外國火災保險　外十大火災保險會社代理店
◎英國ニユージランド保險株式會社　外國上海保險　外一大海上保險會社代理店

◎鮮鐵荷動概況 前月に比し增加(二)

八月中に於る荷動き狀況は發送噸數十八萬六千三百二十七噸、收入六十七萬六千百四十八圓にして之を前年同月に比較するに數量に於いて一萬六千三十四噸(九分五厘)收入に於て十八萬九千七百三十七圓(三割九分)を增加せり今其出荷の主なるものを擧ぐれば左の如し

品目	噸數	品目	噸數
米	三一、二九二	肥料	一、九二八
石炭	二八、三六〇	叺	一、八一九
木材	一三、五〇二	黑鉛	一、七九二
雜穀	一二、八一二	明太魚	一、三四四
大豆	六、七一二	生牛	一、二二二
鑛石	六、〇二六	木炭	一、一一九
豆粕	三、八一四	莨	八五八
煉瓦	三、五二一	薪	七六三
セメント	二、八七二	石油	六〇二
石材	二、七八四	軍需品	四、三八九
鮮魚	二、七〇八		
鹽干魚	二、一三四		

次に前年同期に比し增減の著しきものを擧ぐれば左の如し(△は減)

品目	增減噸數	品目	增減噸數
米	二、一九九	煉瓦	一、三七九
石材	二、〇五二	石炭	一、〇九八
セメント	一、八八四	豆粕	△九七六
木材	一、七二八	雜穀	△七三二
大豆	一、五六八	生牛	△六〇八(一三六頭)

今主要貨物の出荷狀況を槪觀するに

◇御慰問使動靜

渡邊侍從武官は既報の如く小倉衞戍病院の傷病兵を慰問したる後十八日午前九時三十九分下關着發廣島へ向へり(門司特電)

◇宇都宮中將

宇都宮軍司令官は十九日朝〇〇丸にて來淸一泊の上廿日羅南に赴き廿二日會寧に向ふ豫定也(淸津特電)

◇谷田少將來釜

宇品陸運輸部本部長谷田少將は〇〇船にて著釜大池旅館に投宿〇〇輸送狀況を視察せり今後の〇〇に關する見學ならんと傳へらる(釜山特電)

▲米 前月中內地市場に於ける米價は時々外米の輸入により一時保ち合の狀態にありしも月末に至り出兵說喧傳せらるゝに及び大口の買附盛んに行はれ漸次尻上りしつゝありし機先本月に入りて政府の出兵宣言(八月二日)に依り相場奔騰し旬日ならずして白米一石五十圓てふ未曾有の珍價を現はせり之を前月に比較せば殆ど十割の暴騰なり間もなく各地に騷擾起り十六日米穀收用令を發布し次いで米の公定相場(八月二十一日)を發表するに至れり

顧つて鮮米を見るに同樣大勢の支配を享け尙ほ左なきだに前月末來內地商人の買附盛んにして相場昂騰の折柄一層昂騰せり而も新米の出廻り目先にあり爲めに產地手持筋は一齊に放賣するもの多く出荷は各驛に殺到し殆んど收穫季に於けるが如き感ありたり

更に出荷數量と相場の關係とを對比考量するに月初め釜山、仁川市場に於る相場は二十八、九圓臺にして夫より日一日と昂進し五日には三十圓六十錢となりて出荷は斷增し六、七、八日何れも二、三圓方の騰貴を示し此間尙は先高を見越たる買附最も猛烈となり八日の如き出荷一千五百噸臺に達せり、而して十日遂に四十五圓を唱ふるに至りて一頓挫を來し十一日稍買附手控へとなりて二圓方の下落を見るに及び仲買商人は一時に荷捌を急ぎ十二日には出荷一千九百噸臺を突破り十三日更に三圓方を暴騰し後數日變動なく出荷も十五、六日の雨天を除き一千噸臺を維持せり超へて十八日に至り又相場幾分盛返しの氣勢を示したるによりて手筋の賣惜みにより出荷減少せり然れども相場は幾何もなくして又鈍狀に移り尙目先安を見越し又々放賣するもの續出し加ふるに西伯利亞出兵に對する軍用米の出荷あり輸送は爰に大繁忙を極め最も盛況に越月せり當月中に於る出荷數量は前記の通り三萬一千二百九十二噸(二十一萬一千二百二十一石)にして著驛の主なるものを示せば釜山群を抜き一萬一千三百六噸を算し仁川三千百六十四噸群山二千八百二十七噸南大門一千六百八十噸之に次ぎ連帶扱としては約三千噸にして內地行多く滿洲沿線及び北滿行軍需米又尠からず、鹽山、倭館、金泉、天安、鳥致院、平澤、水原、鎭南浦、裡里、金堤、松汀里、南大門、沙里院、平壤、新義州、安東は其の發驛の重なるものとす

◎對獨經濟戰

講和期も次第に接近し來り各國こも對獨經濟政策に就ては種々考究中なるが佛國の如きは獨逸に對し憤怨其の極に達し居れば久しき以前より獨逸を經濟的に排斥せんと企て英國との間には既に談合を遂げ先づ其の一手段として最惠條款の一部廢止を實行すべき旨通告せるが唯米國は該通告に對して如何なる態度に出づべきか勿論米國は現戰爭に對して英佛側に投じ居れるが愈戰後の經濟戰に移らば如何なるべきか曾て佛國が右條約廢棄の說を立てたる時米國は遽に贊意を表せざる關係にありたるやにて高處に立ちて經濟眼を放つ時は獨逸排斥の最惠條約は經濟の理法に照せば拙劣にして愚策なりこの所信なりしもの、如く若し獨逸をして永久に平和を守らしむるの道他にあらば斯の如き經濟政策を取る必要なしと稱し居たり故に今回佛國の提出したる該條約の一部廢止に對し米國の態度は確に興味ある問題なりと(東京)

◎對佛貿易打擊

佛國政府の本邦船舶強要並に低率傭船運賃に據る輸送が本邦海運業者に與ふる影響著大なるが右に關し我海運業者は佛國政府の指定したる船腹に對し直接且急速に之が諾否を回答せざるべからざるにより夫々熟議を凝しつゝあり既に回答を發したるは郵船の扱船たる久原の第六霧島丸及び山下の日洋丸にして共に承認したるも山下の日洋丸は直ちに歸航を命じて北米航路に仕向くるの豫定なる爲事實に於て不承知なることゝなり結局承認せるは霧島丸に過ぎざるが其外郵船の亞細亞丸、商船の春丸、襟裳丸等は既に指定を受け居り尙マルセイユに向け航行中なる西貢北京(以上商船)彌彦、御用(以上郵船)等に對しても當然強要せらるべきは明かにして從つて最も苦痛を感ずるは郵、商兩社なるが兩社は到底其の苦を忍び得ざるを以て九日夫々協議決定の上遞信當局に申達する所ありたるやに聞けり從つて日佛貿易は今後輸送中絕の關係上愈大困難を誘起するに至るべきが此際今春佛政府より我政府に交渉する所ありたるスペース提供問題を解決して國際上の援助を爲さざる限り彼我貿易は遂に杜絕の已むなきに至るべきかを觀測せらる(東京)

◎長淵鐵滓調査

目下黃海道長淵郡內の鐵滓は總督府豬俣屬外三名にて調査中なるが其狀況左の如し

調査區域は長淵郡の內長淵面樂道面、牧甘面を除くの外各面に亘り鑛業令に依る

▲出願十鑛區 に亘り居れるが本月九日より三日間は小林藤右衛門出願に係る新花面快岸浦附近の鑛區實査に從事せしが該鑛區は延長四里に亘り鐵滓は各所に點在し其間毫も連絡なく察するに之等鐵滓の原鑛たる褐鐵鑛は安岳地方より海路運搬し來り新炭の豐富なる山谷を選定し爰に熔爐を据付け熔解、採取し附近燃料を消費し盡すや更に他の樹木ある場所に轉々移轉したるものなるべく各爐間の距離五百間內外にて各爐の堆積數量は二十噸乃至

▲二百噸を存 す而して之等は何れも人家近き畠畑又は私有林に散在し稀に國有山野に存す其の多くは人爲的堆積の狀態にして採掘狀態にあるものは極めて稀なり附近住民は從來無價物として放置されありたる鐵滓の價値あるを知るに至り自己の所有物內に存するものは當然自己の處分權を主張し得べく鑛業令に依る出願者等の所得となるが如きことなかるべしと思惟し居る者多きが如し各鑛區の實査完了せざれば未だ斷定し難きも各鑛區其の鑛床の狀態相類似せるものにして一ケ所數萬噸の堆積居ならざる限り濫りに散在せる殘滓を

▲形式的に連絡 して一鑛區となし各所有者の權利を無視し鑛業出願者に許可するが如き事あらば或は紛爭を惹起するに至るやも計り難し此際に於て可成土地所有者に採取せしめ企業家は各所有者より相當價格に依り買收せしむる方得策なる可しとなす者多し

◎學校組合會

京城學校組合にては十九日午後三時より同會議場に於て組合會を開催したるが出席議員十三名金谷府尹開會を宣し直ちに議案第一號『證券を以て歲入納附に關する規程設定の件』を附議す北村事務官一應の說明を試み議員側より二三の質問ありしが結局讀會を省略して原案可決第二號議案『京城學校組合金庫事務取扱規程中改正の件』理由は府又は府の區域を包含する學校組合公金受け拂の爲にする郵便振替貯金特別取扱規則發布せられたるに依り當組合は之が特別取扱を受けむが爲め又一面に於ては證券を以て歲入納付を許さむが爲從來の金庫事務取扱規程中改正を要するものあるに因る理事者側北村事務官之に對する說明を試み府尹之を議場に諮るや議員間差たる異議なく讀會省略原案を可決せり

右第一號議案可決により京城學校組合費其他同組合の歲入納付に證券を用ふるを得る新規程設定されたるが其內容左の如し

第一條 京城學校組合費其の他同組合の歲入は本規の定むる所に依り證券を以て之を納付することを得

第二條 前條に依り納付に使用すべき證券は左に揭ぐるものにして其の額面金額の納付金額に超過せざるものに限る

一、京城手形交換所に加入せる京城所在の銀行に宛てたる小切手但し振出の日より二日以內のもの

二、無記名國債證券の利札にして支拂期の到達したるもの

三、政府の仕拂命令、仕拂副來帳、雜部保管金引出切符又は京畿道地方費支出命令及京城府又は京城學校組合の發行する仕拂通知書にして納入の爲め發行したるもの又は債主たる京城學校組合を指定したるもの

四、郵便爲替證書、郵便小爲替證書並に郵便振替貯金拂出證書但し本號の證券にして之を出納役又は京城學校組合金庫に納付する場合は受取人を京城學校組合と指定したる郵便爲替證書、郵便小爲替證書又は受取人を指定せざる郵便小爲替證書に限る

前項の證券にして呈示期間若は有効期間滿了に近づきたるもの又は仕拂不確實なりと認むるものは京城學校組合出納役又は組合金庫に於て其の受領を拒絕すべし

第三條 前條の證券にして京城學校組合公金郵便振替貯金に依り郵便局所に納付することを得べき證券は左に列記するものに限る

證券仕拂場所が京城府內に在らざること亦前項に同じ

一、郵便爲替證書一、郵便小爲替證書一、小切手一、郵便振替貯金拂出證書

第四條 出納役又は組合金庫に於て第二條の證券を受領したるときは遲滯なく之を支拂人に呈示し支拂の請求をなすべし

前項の場合に於て支拂人其の支拂を拒絕したるときは歲入は初めより納付なかりしものと看做す

第五條 前條の場合に於ては出納役又は組合金庫は納入に對し遲滯なく證券の支拂を拒絕ありし旨及其證券の還付を請求すべき旨を通知すべし

前項の通知書記載の受領を拒みたる者又は其の住所不明なるときは第一項の公告を爲したる日又は通知書を發したる日より六十日を經過したるときは納入は該證券の還付を請求することを得ず

附則

本規程は大正七年十月一日より之を施行す

大阪より

▲綿絲輸出減少 紡績聯合會調査=本月上旬綿絲輸出高は七千三百八十二梱半にして之れを前月上旬に比すれば千四百六十梱の減少なりと

▲印度綿布調節策 印度政府は九月四日綿布調節策として一名又は數名の調節官を置き下層民常用の綿布に關し製造標準を定め當國綿布業者に割當て製造せしめ調節販賣所又は指定特許者より公定相場にて販賣する法案を立法會議に提出したる所織布業者間に多少之れに反對する模樣なりし尙輸入杜絕若くは減少を來すの虞あり此際何等調節策を講ぜざる可らざる趣きなりと(孟買參事館報告)

▲印棉低落傾向 棉業所入電に依れば印度棉作は近來好雨續き棉成育に良好となり二割減りの豫想も幾分回復を見るやも測り難く作柄不良を以て引上げたる孟買市場は人氣軟弱に傾き賣物現はるれば近く低落の調子となるべしと

◎殖銀大株主

十月一日より開業すべき朝鮮殖產銀行の株主中五百株以上の所有者は左の如し

持數株	株主	
六、五九八	朝鮮總督	京畿
四、二〇四	朝鮮商業銀行	同
四、一三三	李柄學	慶南
二、八四九	大野育二	慶南
二、七〇五	金周伯	全北
二、五二〇	田中友吉	京畿
二、三五一	朴永根	全北
二、一七九	緒方偁三郞	京畿
二、〇〇〇	安聖完	同
一、五五一	李再昇	同
一、四四三	淸水榮太郞	同
一、四二〇	白源洙	[illegible]
一、三〇九	張吉利	[illegible]
一、二四〇	姜春植	慶北
一、一九六	鄭在學	慶北
一、一五〇	徐丙朝	同
一、一〇〇	李宗勉	全南
一、一〇〇	松井邑次郞	同
一、〇八〇	山野秀一	慶南
一、〇二五	廣深正治郞	京畿
一、〇一七	福島源次郞	慶南
一、〇〇〇	李王職長官	京畿
一、〇〇〇	青木十三郞	全南
九九七	川崎藤太郞	全北
九九五	金東洋	兵庫
九一二	淸水德太郞	慶北
八六五	鶴田好助	全北
八一七	金炫國	平南
八一二	金宜鎭	京畿
八〇九	朴基順	全北
七八〇	木村竹太郞	慶北
七八〇	內南信	全北
七五〇	金得全	滋賀
七四二	湖西銀行	忠南
七二〇	岡本房太郞	京畿
六九〇	小森虎吉	京畿
六八〇	齊藤久太郞	平南
六四二	朴宇鉉	京畿
六三五	朴泰鉉	同
六一四	白完鎬	同
六〇〇	漢城銀行	同
六〇〇	大嶽久治郞	愛知
五四八	朴宰相	京畿
五三〇	李九錫	同
五二〇	朴在翁	慶南
五一六	鄭洛數	全南
五〇二	鹽田顧介	[illegible]
五〇〇	李源瑞	[illegible]
五〇〇	孫昌源	[illegible]
五〇〇	黑住猪太郞	全南
五〇〇	呂泰正	全北

▲神戶銀行界分野

神戶組合銀行は本店六行支店十五行の對照にて本支店間に於ける預金及び貸出競爭は目覺しきものにて本年六月現在預金は二億六千六百萬圓にて前年同期より一億一千四百萬圓を激增し貸出は二億九千七百萬圓にて同じく一億二千三百萬圓の激增なるが其勢力の分野は本店側預金八千六百四十萬圓貸出一億八百四十萬圓に對し支店側は預金一億七千九百八十萬圓貸出一億五千八百九十萬圓にて預金は一億貸出は五割方の優勢を示し神戶本店側衝挽回中なるが支店側にも激烈なる競爭行はれ第一は預金千八百萬圓貸出千四百萬圓を以て第一の名稱に叶ひ三井は預金千九百萬圓貸出六百萬圓にして第二位を占め互に競爭盛んなるを顯め預金八九百萬圓に住友三菱村井川崎近江第百の顏觸にて鎬を削り月に依りて消長あるを免れず其他三十四、山口、加島、名古屋の支店は四百萬圓乃至七百萬圓の預金にて輸贏を爭ひ神戶金融界は東京大阪兩支店の爲に支配されつゝあるが鴻池は預金僅に二百萬圓なり北濱の二十四萬圓は殆んど問題にならずと

▲麻眞田安保合 麻眞田 眞田は內地向不振にして小口取引の外捗々しき取引なきも英國向は相應の需要を持續せらるゝ爲め案外下落の狀となり相場は特等五十二錢一等四十六錢見當にて賣行きたり(名古屋)

◎浦鹽爲替開始

朝鮮銀行にては既報の如く二十日より浦鹽松田銀行部と內地朝鮮滿洲主要地との間に金建爲替を開始する事となりしが取引銀行は鮮銀本支店は勿論橫濱正金第一露亞各銀行並に北陸の二三銀行等なるも尙ほ漸次增加すべし

◎爲替貯金受拂高

本年八月中に於る遞信局にて取扱ひたる郵便爲替貯金管區及び受拂額狀況を聞くに朝鮮受內地拂三百十七萬九千圓、內地受朝鮮拂九十九萬六千圓、差引內地拂過額二百十八萬二千四百圓、朝鮮受滿洲拂十一萬二千六百圓、滿洲受朝鮮拂二十二萬三千圓、差引朝鮮拂過額十一萬零八百圓にして之れを前年同月に對比すれば朝鮮受內地拂に於て六割五分四厘、內地受朝鮮拂に於て二割二分四厘、差引內地拂過額に於て九割七分、朝鮮受滿洲拂に於て三割九步六厘、滿洲受朝鮮拂に於て二割差引朝鮮拂過額に於て五分一厘何れも增額を示せりと

◎鑛業登錄(自九月十日至同十一日)

▲鑛業權確定

鐵 鑛 平安南道安州郡東面 五十一萬五千九百五十坪 孫晋鉞、吳鼎永

同 全羅南道咸平郡新光面 九十五萬四千三十三坪 麻生音波

銀鉛鑛 黃海道瑞興郡內德面 七十三萬九千二十五坪 小山庄三

金 鑛 咸鏡北道富寧郡靑岩面 四十三萬九千百十六坪 麻生音波

▲鑛業權移轉

江原道淮陽郡下北面 李永根、金鍾弘

▲共同權者脫退

平安南道成川郡九龍面 金炳完任意脫退

◎會議所評議員會

京城商業會議所にては既記の如く十八日午後二時より評議員會を開き會議所側の提案たる公會堂兼用會議所新築所建設の件並に大正七年度豫算更正の件及び大正八年度に於て金三萬圓起債に關する件を全部可決せり

◎將校の戰時講話

朝鮮軍司令部にては愛國婦人會の依賴により來る二十一日午後一時より龍山驛前軍隊送迎所に於いて歐西亞に於る戰爭情況に就き陸軍將校をして講話をなさしむる由

◎多田氏內地移住

多年京城太平通にて信託業に從事せる多田治平氏は今般別府土地信託株式會社の事業經營の爲め暫時內地へ移住することゝなり廿一日白水に於て知舊多數を招待して宴を張ると

人事消息

▲中村第十九師團兵器部長 兵器材料視察の爲め二十一日より二十五日迄五日間の豫定を以て野砲兵第二十五聯隊第六中隊射擊演習地富平へ出張の筈

▲行弘寬氏(黃海道殖產業合資會社支配人) 十九日朝入京龍尾へ

▲室富清輔氏(常盤生命保險大連支店長) 十九日夜入京龍尾へ

▲飯田華成氏(水原國武農場主) 同上

▲岡本保誠氏(仁川商業會議所書記長) 同上

▲中田孝之助氏(木浦商業會議所書記長) 同上

▲橋本辰二郎氏(共保生命社員) 同上

鳥瞰雜組

▲獨逸では食糧缺乏の結果老人小兒の死亡率が著しく增加して居る▲ミュンヘン大學の秘書官ツァーン博士の最近調査による死亡率は一歲未滿の嬰兒が全死亡率の三分の一を占めて居る▲十五歲未滿の者は同上二分の一を占め更に一千人の出生兒中第一年の終りに於ては二百三十三人に減ずる▲即ち千人中七百六十七人死んで居る割合になるが之が又十五年の末には百三十六人に減じて居る▲而うすると詰り千人生れた內で十五歲迄に八百六十四人死んで居る譯になる▲其處で計算して見ると結局千人出生して十五歲より大きくなる者は僅に百三十六人しかない事になる▲獨帝が如何に威張つてもヒンツェが如何に大きな事を云つて見ても斯う人口が減退しては目下の處は兎に角十五年二十年後の獨逸は何うなる▲之では戰爭を繼續して他迄も勝利を得やうと云ふ氣はあつても靜かに考へて見れば泣寢入より他はあるまい▲粗食論者も一もこゝも粗食で押し通さうとすると飛んでもない事になる▲粗食と云ふ事よりも如何にすれば充分の營養良なる食物が得られるかと云ふ事を先づ研究して貰ひたい▲過日は陸軍で米の買占めをやると云ふので米價暴騰の原因となつたやうに言へらるゝが之は全然無根の事だと陸軍當局者は語つて居る▲今度又世間で陸軍が木炭の買占めをやる樣に云つて炭價の暴騰を傳へて居る者もあるが▲陸軍には木炭採班と云ふものがあつて一切出征先で採ることになつて居るから陸軍の買占めなどは之れも全然無根だ▲買占處ではない萬一使用高以上に採れる見込が立つたら此方へ入しても好いとは同じく當局の談である▲奸商の口實になる陸軍こそ好い迷惑だ又陸軍を口術にするなどは不埒千萬である

口電報延著 東京方面の電報は輻輳延著の爲め本紙締切り迄に到著せず

大正元年創刊 刻々初出 天變人事の

歷史

同人坐しては古今の忠孝を學び天下世界の後代を見 と雖も隨時入會自由なり 宇內の天變人事を見て東西を達觀し大小局に通曉す 仁義禮智の智德を涵養す 文化と美術の新知識を養す 動亂を活動的に觀察し 到る所の風俗を見 今を見し子孫の昔を見るの如く 利し子孫を益すること英大なり

家庭 毎月 口給 千圓 見本

教育の資と成り應接室を賑す 一回約倍版紙米紙卅頁其外數葉は正に絢爛たる美の極に歸るかも分り 有利有益の特待便 日本各地並に海外諸國は卅錢 會費 內地一箇月參拾五錢 金壹圓七拾錢 半年前金 參圓四拾錢 一年前金 五割增 其他外國は

支部代理部 有利何人も可照會二錢

寫眞

每號最重講東海道五十三次其名所 各地男女葬集寫眞募集 珍奇寫眞大募集 錦畵の口繪に珍無類 本月入會 特に假表紙進呈

東京淀橋 株式會社 歷史寫眞會 電話番町五八四 振替東京七三二二七四

百聞千讀不如一見

最新刊 朝鮮總督府鑛務課御調査

最新 朝鮮地質鑛產圖 △定價金八十錢 △郵稅金四錢

◆◆◆縱二尺四寸○橫一尺四寸○七色刷○印刷鮮明○校正嚴密○用程表記載◆◆◆

發賣元 京城大平町 振替三〇〇番 京城日報社代理部

LEADY MADE STORE

レデー、メード、ストアー開設

時勢の進展に從ひ今回歐米の例に倣ひ既成服部を開設仕り候右に新らしき試みこして各位に提供する既成洋服は地質裁縫何れも十二分の吟味と注意とを以て別誂御注文に比し何等遜色なく

一今ガ今 立所に御需要に應じ可申候

一地質 は今年流行品中の粹を摘み

一スタイル は今年の最新流行形にして

一サイズ は33 34 35 36 37 38の何れにもFTを付して十二種の多種に涉り如何なる御體格にも不思議に適合可致

一裁縫 は弊店獨特の技術に夏期職工の閑散を利用して丁寧親切に仕上け有之而も

一價格 は一着に付き十圓以上二十圓以下の低廉を以て提供可仕

質に服裝界の一大革新こも申すべき此の新しき提供に對し僉揃を備はるゝ諸賢は舊慣の注文取り寸法取り假縫等の煩を避けられ今が今即時に御著心地よき服裝を御試用あらん事を切望仕候

京城南大門通り 丁子屋洋服店

店內陳列 =各種多數陳列致居り候間隨時御高覽を仰ぎ度く

地方 =御注文に依り寸法柄合等見立て御送付可申御不合意の節は何時にても取替可候

Price

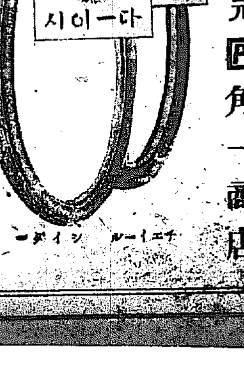
春秋三揃=紺サージ•スコツチ•メルトン	¥29.50	ヨリ	39.00	其他各種
オバー=ラクダ•メルトン•スコツチ	¥28.00	ヨリ	40.00	其他各種
トンビ=裏附メルトン•ラクダ•スコツチ	¥27.00	ヨリ	42.00	其他各種
詰襟服=紺メルトン•サージ	¥19.00	ヨリ	23.00	其他各種

世界的の雨タイヤー

品質がよいの價が安いのと云ふ效能を並べることはモハヤ陳腐になりました

チエイール シイーダ 雨タイヤは

品質に於ても耐久能力に於ても眞に世界的優品として推奨致します



發賣元 京城南大門通二丁目 ㊞角一商店

特約店 京城水樂町二丁目 橋本商會出張所 京城黃金町二丁目 高井自轉車商店

天津支店開設

今般支那天津佛租界第七號路第二十七號地ニ當行支店ヲ設置シ本日ヨリ開業致候

大正七年九月二十日

京城 朝鮮銀行

◎新しい紙幣が出來た
五十錢＝二十錢＝十錢 從來の小額紙幣より丈夫
＝印刷局長 池田敬八氏談＝

咽喉元過ぐれば熱さ忘るるとかいふ譯でもあるまいが近頃十錢廿錢五十錢等の小紙幣に就て到る處に非難の聲を耳にする、其の聲は即ち紙質が惡い爲に

▽毛立ち易く千切れ易いなどといふのである、是等を耳にする度に予輩は胸に釘をさゝれるよりも御辛い思ひがするのであるそれは何故かといふと千切れ易く毛立ち易いといふ事は最初から知れ切つた事であるからだ抑も去年の初秋からの小錢の拂底は實に甚だしきもので造幣局の方に於いても是を補ふ遑がない、といつて

▽年の暮は刻一刻と近づいて來る、人々の困難は日一日と甚だしくなつて來る如何にかして是を救濟しなければならない、けれ共紙幣の版を作るには極早くて三箇月乃至六箇月の時日を要するので已むを得ず明治十四年頃の紙幣の内から選り拔いた版を出來得る限り改造して

▽晝夜兼行 突嗟の間に發行したと云ふ有樣であるから非常に手數を省いた處がある以前の紙幣は皆人手に依つて漉いたのみならずサイジングと云つて印刷後藥液を塗つて壓搾したものであるから却々丈夫であるが小紙幣は此サイジングを省いた爲め紙質は決して粗いわけではないけれど毛立ち易く千切れ易いのである尤もサイジングだけなれば其處に手數もかゝるわけではないが是を施せば

▽紙の纖維が縮む爲めに其目が細くなる從つて印刷の版面も縮み是を斷つ際に見當に全部狂ひが來る然うすれば一枚〳〵斷たねばならぬといふ大手數を要するので火急の場合已むを得ず是を省いたのである、そこで種々研究の結果此度は紙を

▽漉く際に 藥液を施す事とした然し是れも其の量に於て多量なればインキの乘りが惡く少量なれば効果がないと云ふ譯で其の中間を取る事が却々六ケ敷い然し研究を重ねた結果此度印刷に附して日本銀行迄屆けられたものは比較的優良なものである、尤も

▽大紙幣程 にはゆかぬが現在のものが五の力のある紙質とすれば此度のは八の力位であらうと思ふ（東京支局）

◎梨本宮家へ御祝の對幅
方子女王の御慶事と 鍋島侯爵家

李王世子殿下と梨本宮方子女王との御婚儀は愈何時執り行はれるかまだ確かりしたことは判らぬが何れにしても然う遠いことではないので御母宮伊都子殿下の御里方なる鍋島侯爵家では右御祝ひとして芽出度き對幅を獻上すべく舊藩臣なる高取稚成畫伯に揮毫を囑託した稚成畫伯は御即位大禮の繪卷物揮毫の光榮に浴したる土佐派の新進畫家であるが約二箇月を費して完成つたのが『太平樂』『萬歲樂』の對幅で莊嚴結構を極めたもので ツイ二三日前侯爵家へ納めた相な

◎出征軍の食糧
米は朝鮮米 肉や野菜は戰地に澤山有る

『糧は敵に取る』とは古代の戰法であつた、今日文明戰の軍隊食糧の供給法は『原地の物資に依る』といふので

◇時價で 戰地の産資を購入して居る、此原則を知らぬ爲め米價の暴騰は西伯利出兵も其一因だなどと詐誕紛々たるは觀察を誤るも又甚だしきものである、出征軍隊の食糧たる白米及び麥又は馬糧とも一粒だも内地産は絶對に輸出して居らない、又輸入もして居ない、今回の出征

◇軍隊の 食糧用米は全部朝鮮産の米を輸送して居るから出征軍隊が出征前まで內地で喰つて居た何十石と云ふ米が却つて浮いて來た道理である、次に麥は沿海州の方も豐富であるから之れ又高い輸送賃を拂つて送る必要はない殊に沿海州は北麥が豐富で馬糧は充分であるし北滿方面は

◇有名な 大麥の産地だから之れ亦申分が無い、次は野菜であるが之は滿洲名物の白菜、玉葱、キャベツ、馬鈴薯なども喰切れぬほどで內地よりは遙に澤山だ、內地から送つて居るものは調味品の副食物の代に用ひる牛肉の罐詰又は鹿角菜、干瓢の樣な乾燥品と高野、鰹節、煉乳などの耐久性の物品で之丈けは戰地に無いから仕方が無い、冬季は

◇人體に 取つて脂肪性の食糧が必要で一日何うしても五十グラムは必要だ之に對しては沿海州でも北滿方面でも牛が幾らでも居る、こんな譯で內地産の品物が出征の爲めに騰貴する筈はない』（某將校談）

◎聽衆を感動せしむ
盛なりし萩野田中兩博士講演會

朝鮮教育研究會朝鮮新聞社及び本社主催の萩野田中兩博士講演會は十九日午後五時より高等女學校に於いて開催されたるが來聽者は堂に溢れ却々の盛會を呈したり先づ萩野博士、急霰の如き拍手に迎へられて演壇に登り『國史より觀たる朝鮮』と題して曰く

▽內鮮兩地 に於る文物の交涉歷史的關係は極めて深き事は言を俟するまでもなき事なるが今回朝鮮に來り各般の風俗建築等を觀察するに追んで恰も我王朝時代の繪卷物を繰り擴げて見るが如き感興を覺へたりとて衣冠食器建築其他細に入り微を穿ちて我古代と現在の朝鮮を

▽比較詳說 する處あり最後に平安朝以前に於る日鮮兩國民が內外疎遠なく鮮人にして政府要路に立たるもの多きのみならず桓武天皇時代朝鮮人が日本國民の三分の一を占め居たる歷史的事實より見ても日鮮兩國民は人種的に同根なりとて大いに日鮮同化の今日あるを說き聽衆に多大の興味を與へたり次いで田中博士演壇に立ち『文祿役の發端に就いて』と題して曰く文祿役の發端は豐臣秀吉に依つて釀成されたりと信ぜられつゝあるも

▽古記錄に 徵すれば織田信長が朝鮮を介して大明國と交通を結ばん事を企圖し屢々使を李朝に遣はしたるに起因したるものなりとの說と更に朝鮮征伐は秀吉の單なる侵略主義に依るに非ず國際上の大義名分に則りたるにも拘らず明國の暴慢遂に彼を激發せしめたるもの也然も文祿役たるや當時我國民が

▽海外遠征 の志し熾烈にして大藩悉く國內發伏を冀がはず國を擧げて世界的雄飛の境上に登らんとするの秋なりしかば有形無形の効果多く我が國が當時世界を席捲したるスペイン、ホルガルト等の冒す所とならず德川三百年を盤石の重きに處らしめたるは實に秀吉の如き

▽一大勢力 の現はれたる賜ものなりしなりとて大いに秀吉の爲に氣を吐き國民元氣の喚起を暗示したるには聽衆等しく感動し滿場水を打ちたるが如くなりし

兩博士講演會 （下）會場の聽衆 （右）萩野文學博士 （左）田中文學博士

◎大破した大氣球
試驗中突風に攫はる

過日の暴風にて海軍航空隊の大氣球大破したる事は既報の如くなるが右は十六日追濱にて氣球隊長高原少佐以下三飛行將校實驗委員として最新式鯨形繫留氣球の人力運搬試驗を行ふべく兵員五十餘名を督勵して新設格納庫より瓦斯の充滿せる該氣球を南に運搬試驗中恰も午前十時五分一陣の突風襲來し支持せる兵員を地上に投り出し瞬く〳〵內に太平洋上の彼方に其姿を沒したるなりと

◎五千人に施米
一箇月間の累計

京城救濟會に於ける赤貧者救助米の施與狀況を聞くに十七日明治町元京城病院跡施米所及び京城府龍山出張所施米所に於て救ひたる石高人員は內地人倶米五斗七升粟五斗七升（人員三十七名）鮮人倶米三石三斗九升粟三石三斗九升（人員二百名）に達し去月十七日施米開始以來一箇月間の累計內鮮人を通算して米粟合計百六十一石一斗六升人員五千十一名を示し居りと

□記念繪端書と京城郵便局

京城郵便局では朝鮮總督府始政八周年記念繪はがきを十月一日より發賣する由であるが買捌に制限ある事とて多數需要の向に對しては豫め其の申込に應ずる由繪はがきの種類は既報の如く（一）兼二浦三菱製鐵所（二）大正水利組合事業（三）慶北安東郡廳共同販賣所及び江原道洗浦官立緬羊牧場の三枚一組にて賣價一組金十錢發賣當日は特殊通信日附印を使用し主として第二種郵便物に押捺すべく當日及び其の以後三日間內に限つて郵便物以外の物件に一錢五厘以上の郵便切手を貼附し記念日附印押捺を希望する向に對しては特に其の需めに應ずべしと

佛蘭西夜話

▽不思議な豫言者（二）
二十四歲までには死ぬ 莊嚴なる靈感

敬虔なる信仰家の間にはルーブランドなる小教會にて聖母御心の像の下に救主基督が現はれ給ひ親しくクレール、フエルショーに幾度か御言葉ありしと信ぜられてゐるクレール、フエルショーの天より賜はつた豫言の力は疑ふべくもない一九一六年末クレール、フエルショーは政府當路の人々及び其他の勢力ある

◎政治家數名は共に

◎謀つて國に反せんとの豫言し又は佛國に革命を企てる者がある、軍隊に騷擾起り近く罰せらるゝであらうと告げたがその後一々事實として現はれた近くはボネ、ルージュ紙の事件があり惡徒ボーローを裁判所で取調べの結果組織完備した勢力のある一秘密結社は一九一七年春一揆を起さむとせることが明瞭となつたクレール、フエルショーは本年の始め數名の陸軍大將に警告を與へて當時軍事に通曉せる人々の間には佛國の戰線は破るゝ事なしと信ぜられてゐるけれど

◎戰線の破る日近き

◎にあらむと云つた が是亦その言の如くであつた又聯合軍は失望の境遇より一轉して勝利を博し『萬事休せり』との歎聲は忽ちにして『軍事救はれたり』との喜びとならむといつた事が此の豫言の實證せらるゝ日は遠き事ではあるまい（或者曰く最近の西部戰線は之れを證明せり）クレール、フエルショーはその身の死を豫言せる如く二十四歲迄には天の使命を終り世を去るべしといつてゐる、その高き信仰とその身の出現とは

◎天主教の僧侶を感

◎動せしむることが甚しくないポアテイエの監督の如きも初めは彼女に餘り信を置かなかつたが間も無く一變して熱心なる保護者となつたそしてボールドの大監督にも紹介した、所が大監督はクレール、フエルショーをその邸宅に招き種々精細に問答した所その應答の妙には轉た感嘆に堪へないものがあつたといふ去る二月羅馬法皇ベネデイクトはクレール、フエルショーの言ふ事を奇なりとして大神學者たる高僧ヒューゴンをして精細に取調べしめた事もあるそのヒューゴンの報告は

◎未だ公表せられぬ

◎けれど學者の斷言する所に依ればクレール、フエルショーの靈感の如何にも莊嚴なることその文章中に現はれた正教眞理神學及び神秘なる向上等には何人も疑ひを容るゝ所無からうと云てゐる、ジャンダークの再生と云はれるクレール、フエルショーが世の注意を惹し非常に上流の如く高位の人々にして或は其邸宅に引見してその言を聞き或はクレール、フエルショーの家に訪問せし者もあるヴァンデ選出の

◎代議士の如き大統

◎領ポアンカレー氏に紹介し又ヴエルダンの戰ひに際し佛國の一大將は遂にクレール、フエルショーをルブランドに訪問したる事もある

□戰地より
金谷從軍記者

★君が代の歌 浦鹽州の自治府といふのがラザロフの所謂利強政府か、ホルワツトの極東政府か、どちらにするかといふ事につき八月から三日間の大會を開いた、社會革命黨のメドウエゼフは西比利亞政府に贊成といふし國民自由黨のグリゴリエフはホルワツトに手を擧げた、席上にはラザロフ、トルストフ、アルベルなどが皆集つてゐる、朝鮮人で村の代表者に選ばれた者も六七人居る、その中ラズトリノーエ村から來た一人がこんな事を云ふた『諸君、日本は浦鹽に軍隊を出した電話線を架設した、諸君はこれを何と見るか、日本は今に巡査を派遣しわれ〳〵には今に『君が代』を唱はせるであらう……』と

★蛇の樣に成る銃 戰線から白木の箱に入れて大切にして送られた一挺の小銃があつた、銃身にはピートル大帝の砲兵工廠で千九百十七年に製造した旨の文字が鋳つてあるが銃口から臟底までには十數發の彈痕があつて銃身は蛇のやうに曲つてゐた、これはクラエフスキー附近の平原で敵の過激派が持つてゐたものであつた

★浦鹽の埠頭 朝鮮郵船の越後丸は今浦津に向けて出帆するところである、義勇艦隊の埠頭に横付けとなつた此の船は明日の朝八時には清津に著くといふことであつたお隣には敦賀から入港した鳳[illegible]丸が[illegible]となつてある、浦鹽と敦賀との關係も[illegible]が浦鹽の清津とはまだ深い者、僅に十數時間の航海ならばまるでお隣のやうなものである、埠頭に市を成してゐた白衣の人々はドヤ〳〵ドヤ〳〵乘りこんだ、清津や元山で見知りの人々も澤山居つた、昔しから懇意な[illegible]今何度においでか』訊けば『私が川田です、これは〳〵』とニコ〳〵の挨拶、何から浦鹽に來ると此處がどうしても露國だとは思はれぬ

讀者文藝（一等には五十錢）
▲謎「吳服屋」
◎傳染病と解く心は時候の變り目は一番多く流行る（一等） 京畿利川 古谷定治
◎巴里の夜會と解く心は流行界の粹を集める 京城 小公子
▲尺取虫と解く心は尺を取るが仕事 永登浦驛前 六白坊
▲義太夫の稽古と解く心は反物（段物）で喜ぶ 先斗 北閑雲生

縞セル 一尺の一圓川錢
東京市日本橋區本石町三丁目 …（縞セル地を引取りたるが品質優等なる上等品…）

ぜんそく小兒百日ぜき肺病 藤井百太郎
濟生堂 鍼灸院

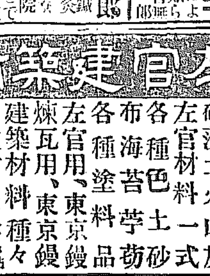
しんぞう病の人にホントにヨクキク最新の療法 心臟 兵庫縣明石町 松尾屋藥舖

京日案內
事務員一名入用 浪花館
土地賣物 三好館
鍼灸術
ゴム玩具卸商 大陽商會
恩給年金 江州屋本店

左官建築材料 セメント 石灰 珪藻土 火山灰 左官材料一式 各種色土 砂 布海苔 苧苆 各種塗料品 左官用、東京鏝 煉瓦用、東京鏝 建築材料種々 各種耐火煉瓦 煉瓦土管瓦 各種苆類製造 九州火山灰合資會社特約販賣 京城電氣株式會社製瓦斯コークス コールタール 平壤小野田セメント株式會社製 特約販賣 石灰特約販賣 京城旭町一丁目 卸商 戶澤商店

敷莫蓙購買入札 詳細ハ九月二十日朝鮮總督府官報第十九號參照

國益式輪轉稻麥扱機 專賣特許
國益製繩機械 專賣特許
東京上野停車場前 內外農蠶器商會



漬物問屋 大阪市南區 森內商店
徒弟募集 京城印刷所
購買入札 朝鮮總督府
書畫骨董 鑑定、評價、交換、讓渡等ノ依頼ニ應ジ候 每月一回非賣品展覽會並ニ素人持寄即賣會チ開催仕候 朝鮮美術同好會
東京製帽子卸專門 冬帽子 山脇製帽所 山脇帽子問屋
岩倉鐵道學校

朝鮮諸官廳 受驗講義錄
▲本講義錄は內鮮人を問はず朝鮮諸官廳の判任見習及屬員試驗に應ぜんとする者の爲めに特に編纂されたるものなり
▲科目は國語、會話、作文、漢文、歷史、地理、算術、法制講義、法學通論、憲法講義、行政法講義、現行朝鮮行政法規、刑法講義、受驗案內
▲來る十月に發行さるゝ總督府及各道廳の判任見習及屬員試驗に應ぜんとする者の唯一參考書なり、試驗に登第せんとする者は本書を讀むべし
▲七冊全部完結 代金壹圓九拾錢 送料拾貳錢
發行所 京城南山町二丁目 朝鮮斯文學會

終編!! 最終編は來れり
最終編 秘密の王國 六卷
フイリツプ王子。忠僕ジユアン。シユリヤ姬さては執拗蛇の如きレーモン伯爵の行末！見よ最後の幕は開かれたり如何に鬼人の如き惡魔も正義に打勝つ事は出來得ないのである惡は亡び善は榮え行く勸善懲惡感動的大冒險活劇冊二卷十五編の內第十三、十四、十五編を以て目出度解決す
◎新派悲劇 春の雲 全四卷
◎舊劇 竹內加賀之助 四卷 松之助一派出演竹內流忍術元祖
◎來る廿四日は祭日に付晝夜二回開演仕候
二十日より上場 大正館

妻の心（九十八）

十五の十一　小林蹴月作　武内桂舟畫

『可いかね、禮さん、お前が愈々承知ならば、直にでも順さんの銀行へ電話を掛けて、歸りには此方へ廻つて貰ひますからね。』

喜久子は、口の下から早や女中を呼んで、順吉郎の勤め先へ電話を掛けさせようと爲た。

『まッ、阿母さま、然う性急になさらずとも、お待になつて下さい。』

禮子は、半ば逆上の體で、誤るやうにそれを遮つたのである。

『可いぢやありませんか、善は急げッて云ひますから、同じものなら早過た方が……。』と、喜久子は、到頭女中を呼び付けて、口早に銀行へ電話の事を命じた。

禮子は、最早此の期に及んで開くべく口もなくなつて了つた。彼の女は、ワッと云つてその場に聲を惜まず泣き倒れたのである。

頑迷一徹の喜久子も、娘の泣聲を聞いては、流石に自分の無理を省みない譯にはゆかぬのであつたが、彼には徹頭徹尾町川家の利益、町川家の永續、そして婿の久三郎が憎いと云ふ事の外何にもないのであるから、一時の愛情や當面の憎惡心の爲めに娘の云ひ分を立て通させる事は絶對に出來ぬと決心して居た。腹では多少禮子に同情すべき點があると信じて居ながら斷じて同情らしい氣態さへも見せない。

『禮さん』お前はまだ彼の豚でなしの久さんに未練があればこそ、妾の云ふ事に楯を突いたり、聲を立て、泣きわめいたりお爲なんだらうが、妾も此の一月三月は、お前の爲めに啞者聾者の難行を守つて、水晶の珠數を便りにお念佛を唱へるより外、小叱一つ愚痴一遍零した事なしに、辛さ辛抱を積んで來たんですよ。繰返して云ふ通り、甚はと云へば、みんなお前が可愛い、お前の將來が氣の毒なと思へばこそなんだからね、ほゝほ、ほゝほ、お前だつて十九や二十のねんね上りではあるまいし、もう好い加減に老先のない一人の母親に安心をさせてお呉れでも好かりさうなものだね。どれ〳〵、妾は少し臺所の方に要事がありますから夕景順さんが見えたらば、重ねて出直して來ると爲ませう。お前もそれまでには、お湯でも使つて不吉の涙を拭き去つといてお呉れね。』

脅迫と威壓と理窟責めから出來上つた例の離緣の宣言狀をば、喜久子は大切さうに懷へ捻ぢ込み是さへあればと云ひさうな顏付して、水晶の念珠を手首に懸け直しながら出て行つたのである。

禮子は、もうそれを呼び止めるほどの元氣さへもなかつた。少時の後彼女は、はふり落つる熱涙を拭ひもやらずに起き直つて、矢庭にびり〳〵自分の片袖を喰ひ破つたのである。

『阿母さま、妾は貴女の娘に遊びならうと、お生かしにならうと、そりや貴女の御隨意かも知れませんが、妾に二重結婚を爲よとは、そ れ、そりや貴女、世界に例のない御無理と云ふもんです。貴女は、妾が今の旦那樣と結婚する時分に、何と妾に仰被つたでせう、男と云ふ者は、ともすると、兎角無理を云ひがちでもあるし、世間へ出れば、交際と云ふものが必要だから、時には花柳の巷などへ足を踏み入れる事もあらうが、それを一々嫉妬の炎を燃やしては、はしたなく泣き喚きするやうでは、妻の妻たる本分は勤まるものではないと、諄くも諄く誨へて下すつた事は、妾決して忘れは致しません。それだのに貴女は………良人に假令何れほどの過失があるにも致せ………妻たる妾の方から、離緣の宣告を與へよとは、まあ何と云ふ非道殘酷のお誨でせう。妾は、貴女から無理往生に手を取られて、自分の名前を書き添へましたが、彼は旦那樣に對して、妾の心の愚な爲めに、旦那樣のお氣に召さない事ばかり仕出來して居る自分の落度をお詫する了見で書き添へたのですよ、妾の誠實の心が、若し幾分でも旦那樣のお心に通ずるとしたならば、阿母さまのお書きになつた毒々しい彼の文言と、妾の血の涙で自署した名前とは、全然別物になつて、旦那樣のお目に映る筈です。それが若し映らないやうならば、神も佛も世界も人間も最う床の下の芥です。眞實、妾と云ふ物が貴女のお目の前から消ゆ去るの時が來たのです。櫻井の順さんなんて、彼りや一體……人間でせうか、獸物でせうか？』

悲痛、憤激、怨恨の最々極度に達した禮子は、あはれ天性の柔順、温和、謙恐、貞淑のあらゆる婦人の美德から脫却して、生きながら魔界の夜叉と變じたのである。

京城の名物(京城南大門通三)　カフエータイガーの洋食とすき燒

日報歌壇

○月夜　夏の旅人

プラタナスいぶかしき葉を擴ぐかな侘しき夕默しゐるとき
うつくしや紫の山はわがこゝろ和むがごとく靜かなるかも
いたづらに紙に向ひてある程にこゝろ侘しく蟋蟀のなく
外の夜ははや傾むける月影に木立を搖すり秋の風吹く
あさ白く月照したる草の間にさまよひ出でし夢のかなしも
身にあまる歎きをやらむ術もなく傾く月夜獨りかも寐む

○北漢山行　あづさ君へ　春哉

太陽は未だのぼらず朝山は霧にかくれて遥かなりけり
山頂は風はやからし朝霧のあわたゞしくもちぎれ立つなり
山骨のあらはに見ゆる大岩根さむざむとして秋風の吹く

□子規忌俳三昧第四夜

—中野一杉庭より梨桃到來、不區面なる二人の參會者を放逐す—

鹿　浮碧樓
孕み鹿なる番人が人に親切であつて
今の牛口は鹿の話をふかせて優しい土地
芹郎
こゝろよく草を運ぶろ牡鹿は居らぬ
旅の服裝として鹿を呼び鹿をいつくしよ
眞三
媚びる鹿をも園丁は顧みざれば
私が腹這つてる草原を鹿が歩んでゆく
眞敏
しづかな神前の私と鹿の集つて來た朝
月夜見た一定の鹿がむつまじく去つた
烏堂
九月菜がしやんとして鹿をきいてごうする
風がさらさら吹く鹿の貌嗅ぐよ
—九月十七日—

■湖南吟社詠草(大田)

樹を伐る屋上の音や蟬の聲　桃雨
夏菊に溜れる汽車の埃り哉　同
羅や朱欄に繞る松の影　十亭
刈草に溜る夕日や蟬時雨　同
夏草や地蟲釣る兒に傘さゝる　綏松
体下りて坂歩きけり蟬時雨　同
夏菊に四圍硝子戸の畫室かな　青兒
寫生する踏板に蟬の夕日かな　同
白く灯せる樹下の小家や鳴く夜蟬　淡水
夏菊や紺屋の風の藍臭き　雅溪
夏菊や校庭を掃く兒の唱歌　同
糸を繰る母屋の音や蟬時雨　同
鋸りす眠たき音や蟬の聲　月波
夏菊や水弄る兒に浴む夕日　青葉
衣濯ぐ水に夕日や蟬時雨　同
城下外れて氣安き宿や蟬時雨　不倒
樹に燃ゆる海の夕日や蟬時雨　風骨
夏菊の影する父の遺影かな　同

◇間食は　▽小供に惡くはない

涼風に伴れて漸々と食慾が進んで來ますから大人も子供も間食が欲しくなります此間食は一般に害になるものと說かれてある通り決して衞生的なものではありませんが多く食らず適度に時に應じて攝れば其れ程害にもなりません某小兒科醫の說に依ると發育盛りの子供に絕對に間食をさせぬ事は實行

◇困難で　あり又却つて生理上宜い結果がないと云ふことでございます醫師は語る『子供の食量は大人に比較して割合に多いのが當然です、けれども子供の食事は恰度回復期の病人の食事と同じやうに一度に多く食させずに回數を多くすることが必要です、約り習慣性となつて居る日に三度の食事よりも四回或は五回に分ける方がよいのです、此の回數は幼い兒ほど多くするのです、又子供は

◇運動が　劇しいので大人より速く空腹を感じますから何うしても食事と食事の間には何かしらお菓子を請むものです殊に學校でお辨當を食るやうになると何處の子供でも間食を大層樂しんで家に歸ります、此時若し樂みなお八つが無ければ子供は什麼に物淋しいか知れません、若し學校からお辨當腹で歸つた儘夕食まで待たして置けば夕食の際一時に澤山食ます而して間もなく寢るやうになりますから

◇健康の　ために甚だよろしくありません一時に大食をするとやがて胃擴張などを起す因となります』と醫師も申す如く子供には間食をさせるのが却つて自然で生理にも適つて居るやうでございます、處で間食にはどんなものを與へるかと云ふ事をよく母親は注意しなければなりません、醫師の話では學校から歸つた時のお八つには果物を與へるのは惡いと申します、一般に果物は食後の消化を助けるものですから空腹の際消化劑を與へるのはよくないからでありませう、けれども子供は大概果物を喜ぶものですからつひ母親は與へます、果物も蜜柑のやうに

◇酸味の　あるものは絕對に避ねばなりませんが酸味の少いもので多少お腹に堪まるやうなもの例へばバナナ等は時には好いと云ふ事です、此間食は子供に限らず大人でもお互ひの親しみの上から又老若が交つてお茶を汲み代しながら昔語りをするなど一家の團欒に此上もない趣味を與へるものです

平壤牛肉同樣の精肉販賣所は　京城旭町一　電話一五一九番　深堀屋本店へ

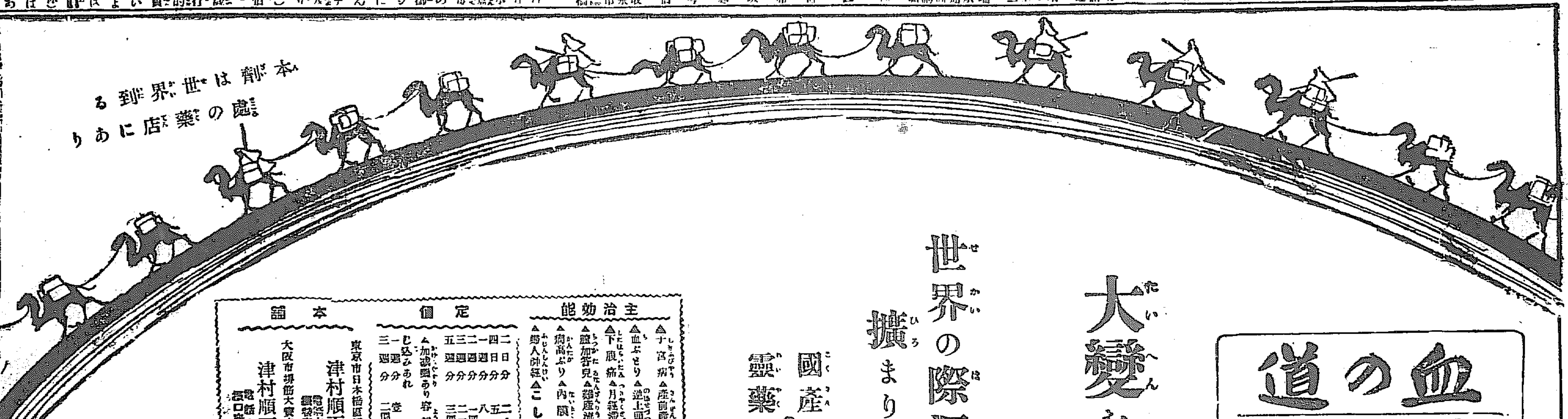
院長 醫學士 森定吉　(芙蓉醫院改め)　内科 小兒科　森病院　入院隨意　京城明治町三丁目玉鶴田醫院跡　電話二六二三番

新刊紹介（寄贈者）

▲通俗學術講演集（大日本學術協會編）屍蠟の話（三田學博士）認識の話（今福帝大講師）日本音樂の音相（田邊理學士）きつねつきの話（長家醫學士）酒の話（高又農學士）印度哲學栽培史（武田早大教授）大食か小食か（佐々醫學博士）石敢の由來と功法（大橋工學士）文部省檢定試驗問題其他（二十五錢東京神田表猿樂町 富文堂）
▲第一義諦（大谷光瑞講演）大谷光瑞師の講演に成る如來と衆生の意義、煩悶四諦提要等の大用の四綱を收む、通讀にて興味多く知らず識らずの間に高潔なる釋教の眞理を解せしむる様に講述したるものなり（四十錢大連東本願寺佛教青年會行、大阪屋號發賣）
▲新國民（九月號）十五錢東京神田區駿河臺袋町大日本國民中學會
▲朝鮮遞信協會雜誌（月刊）十二錢京城光化門通遞信局内朝鮮遞信協會
▲朝鮮農會報（九月號）二十錢京畿道水原郡日新面高等農林朝鮮農會
▲工業晴報（九月號）二十錢東京麻布區飯倉片町二十七　工業晴報社
▲水産界（四三二）二十五錢東京赤坂溜池町一大日本水産會
▲電氣化學（三の九）三十三錢東京麴町有樂町一の三電氣世界社
▲東方藝術（六號）三十錢東京淺草今戸町倡藝社
▲日本幼年（十月號）一寸法師の西伯利亞出征（日月はいつこ）動物あそび（等の附錄あり、其他大島大將の『勇敢なる軍曹』久野冬羽氏の『仇討奇話』永代氏の『小公園』桃水氏の『三代將軍』市川氏の『海の彼方』芳水氏の『廢兵の話』思水氏の『昨夜の夢』等十五錢東京京橋實業之日本社

讀者の領分

▲今年は時期の遅れたるため到底ダメなれど來年は盛夏中を中心として廉浦邊に於て盛況を致度者あり、幼虫飼育に關する出版物ありさば御知らせ下さい賞品御承知の御方は御通知被下度候。(岡山遊園生)▲貴紙のシベリヤ前途有望なる記事を見て僭越に堪へず大和男子の本領を大に發揮せんとす京城より浦鹽及びハルビン、チチハル、チタ、ハバロフスク迄の汽車賃及び船賃大至急此の欄にて御教授に預り度し何卒詳細懇切に願上ます(白骨生)▲京釜京義沿線の皆さんよ宜しく西伯利遠征の諸士を送つて上げて下さい。而して熱狂的に、羽織袴で出ても敢て一つ叫ばぬ限りよく見受くる送りに行くのか見に行くのか送れ諸君熱狂的に(水原エスエム)▲水原某所の事務員さん少し人に親切で有つてもらひたい親切にしても人は笑ひはしませんよ(馬鹿サンタ生)▲穀生の朝鮮人少女は申込者三四名ありたれば取纏め送り屆きたり既に約束出來し事と思はる(係)▲羽龍生よ、君の言分は少し無理ではありませんか、習慣といふ諸があるから(編輯小僧)



大變な人氣

世界の際涯まで擴まり賣れてゆく　海洋を渡りて……大陸を横ぎり……

國産靈藥　中將湯

血の道　子宮病

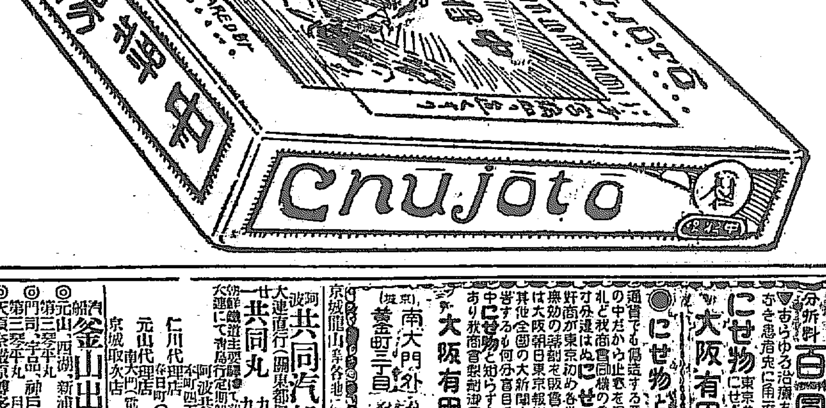
眞に世界的の優良劑たる理由

絕對の優良品を普及するには國境も國情もありません、いかな異國の婦人でも一度中將湯を服用すれば「ナルホド」これこそはあらゆる婦人藥よりグンと卓効のある眞に世界第一の靈劑だ」と的確な効果の事實を味ふことが出來ます、そこで人の口から人の口へと傳つて、交通自在の文明國は日ふまでもなくいかな未開の僻地までドシ〳〵販路を擴めて行きます。

主治効能：▲子宮病▲産前産後▲血の道▲血ぶとり▲逆上頭痛▲氣ふさぎ▲下腹痛▲月經滯り▲夜眠れず▲膽加答兒▲鼓腸泄瀉▲腰足冷込▲痲痛ぶり▲內臟炎▲つはり▲婦人神經▲こしけ▲月經不順

定價：二日分　二十五錢　四日分　五十錢　一週間分　八十錢　二週間分　一圓五十錢　三週間分　二圓二十錢　五週間分　三圓四十錢　▲加減湯あり容器詳しく御申込みあれ　一週間分　一圓　三週間分　二圓七十錢

本舗：東京市日本橋區通四丁目　津村順天堂本店　電話本局六二〇・六三　振替東京六〇八番
大阪市堺筋大寶寺町　津村順天堂支店　電話南一二五番　振替口座大阪五四六番



最新刊

書名　著者名　定價
兒玉藤園將軍　定價 武圓
支那語叢談　渡會貞輔　一、三〇
朝鮮語の先生　趙在翊　一、二〇
國史美談 一卷　北垣恭次郎著　定價九拾錢
心の修養　芦川忠雄　一、五〇
自學主義各科教授原論　二、五〇
主婦の算術　中村八郎著　定價八拾五錢
謠曲の先生　横井春　七五
巡査旅役者の手記　坪内　七〇
遞信地圖　定價壹圓
口譯宇治拾遺物語　外山　一、二〇
太閤　四〇
非小說　涙香著　定價六拾錢

京城本町　大阪屋號　電話六四番・二一八番　振替京城二五七八三番

京城明治町一丁目　電話二四一番　贊化病院　内科 小兒科　入院隨意　醫學博士 古城憲治　毎日五名を限り無料施療す

りん病 ばい毒　百圓進呈　帝國醫科大學病院　淋病藥王湯は治淋劑として梅毒藥王湯は驅梅内服藥として醫藥學上最有効と確定し……等にて賞揚配劑せる高貴藥なるを保証す若し前述の證言に違ふる事を發見せる時は分析料百圓進呈　▽あらゆる治療も効なき患者宛に南一度來談あれ

にせ物と好商　通貨でも偽造する惡奸ある世の中だから止むを得ざる訳なれど我商會同樣の看板を掲げにせ物を賣る好商が東京初め各地に簇出し無効の藥劑を販賣せり我商會は大阪朝日東京報知東京時事其他全國の大新聞に廣告するも何分百目千人のせの中にせ物と知らずして買ふ人あり我商會製劑御需求の方は
大阪有田製藥を御取あれ　にせ物東京其他各地ににせドラッグあり
(京城)南大門外ドラッグ商會　黄金町三丁目ドラッグ商會　京城龍山其他各地に偽物あり御注意
大阪　ドラッグ商會　三休橋　京城南大門外停車場通

共同汽船出帆
阿波共同丸　仁川　九月十八日後入港　十九日正午出帆　大連直行(關東都督府命令船)
朝鮮郵船株式會社取扱　阿波共同汽船株式會社　本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店　野口商會(電話二四四七番)　元山代理店　田口回漕店(電話二七六〇、八二一番)　京城取次店　河村運送店

釜山出帆廣告
◎元山、西湖、新浦、城津、清津行　第二琴平丸　月日後四時出
◎門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　月日後四時出
◎天草佐須奈厳原博多行　光丸　日午後十時出
本船取扱店　釜山港埋立新町　大池回漕部

朝鮮郵船出帆
●浦汐行大阪商船港ヨリ釜山元山城津經由　平安丸 九月廿三日 元山發　越後丸 九月二十日 釜山發　雄基行　九月廿一日 元山發
●雄基行×印門司釜山各港經由　忠清丸　九月廿二日 釜山發　雄基丸　九月廿五日 釜山發　九月廿七日 釜山發　十月一日 元山發
●元山雄基線元山起點各港經由　穩城丸 九月十九日 元山發
●大阪行浦汐港城津元山釜山門司經由
平壤丸　十月四日 元山發　十月六日 釜山發
●金剛山遊覽便元山發長箭行毎月六回但自六月至十月五ヶ月間　鏡城丸　九月廿一日 元山發
●濟州島行釜山發木浦及各港經由　咸鏡丸　九月廿四日 釜山發
●釜山浦項線釜山發長生浦方魚津經由　金海丸 飛鳴丸 毎日 釜山浦港發
●濟州島行東廻リ西廻リ島内各港經由　西廻 公州丸 九月廿三日　東廻 三浦丸 九月廿六日 木浦發
●濟州島行釜山長承浦麗水巨文島經由　昌平丸　九月二十日 釜山發
●釜山麗水線　海州丸 統營丸 巨濟丸 毎日 釜山麗水發
●木浦麗水線麗水ニテ釜山行接續　順天丸　九月廿一日 木浦發　(以下三日目毎ニ木浦發)
●多島海行木浦發多島海各島行　三浦丸　九月廿二日 木浦發
●木浦行仁川發各地經由　全州丸　九月廿五日 仁川發
●海州行仁川發江華島喬桐島經由　新江丸 南陽丸　毎日一回 仁川海州發
●鎮南浦行仁川發各港經由　江田島丸　九月　日 仁川發
●青島行仁川發各港經由　江原丸　九月廿七日 仁川發
朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ便アリ
本社 京城南大門通 電話一一九五・二三三
釜山港佐藤町 釜山支店　元山港海岸通 元山出張所　仁川港代理店 堀回漕店　木浦港代理店 山野回漕店　京城荷客取扱店 松原運送店 電話長二〇七　各寄其他港地に荷客取扱店あり

日本郵船出帆
◎大連、天津、牛莊行　相模丸 九月　日　酒田丸 九月十二日正午出帆　高砂丸 九月廿七日正午出帆
仁川海岸町二丁目(電話十番)　堀回漕部

大阪商船出帆
(仁川出帆)
×神戸、大阪行(鎮南浦寄港)　信濃川丸　九月十九日 正午出
群山、大阪行　安東丸　九月廿一日 後四時出
(元山出帆)
×木浦、大阪行　信濃川丸　九月十六日 正午出
(清津行)
●平安丸　九月廿七日 後十二時
●釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　宮島丸　九月廿一日 後九時出
(大連出帆)
●●上海、北陸、打狗行　湖北丸 十月十七日 前六時出　北陸丸 九月廿八日 後六時出
内地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回　北米行 毎月一回　南米行 一年四回　孟買行 毎月一回　濠洲行 毎月一回　南洋行 毎月一回
御注意　◎外國航路ノ乘船ハ五分引ナリ ……
大阪商船株式會社　京城支店　仁川支店
切符發賣所荷扱所　京城通運會社 仁川本町二丁目 ……

尼崎汽船出帆
下關、大阪行　神代丸　九月十八日後四時出
群山、下ノ關、大阪行　秀吉丸　月　日後四時出
群山木浦下ノ關大阪行　君が代丸　九月十五日後四時出
仁川海岸通二丁目(電話五九番)　高杉回漕部